

TS 出来形支援ソフト

QuickProject 情報化施工マネージャ

クイックプロジェクト 情報化施工マネージャ

操作マニュアル

株式会社ワイズ

<目次>

1. 操作の流れ	6
操作の流れ	6
2. 起動と終了	7
情報化施工マネージャを起動する	7
情報化施工マネージャを終了する	7
3. 工事の新規作成、工事の選択	8
新しく工事を作成する	8
起動時に工事を作成する	8
工事を新規作成する(起動時以外)	8
工事を新規作成する(PhotoManagerの工事情報を引き継いで工事を作成する)	8
作成してある工事を開く	10
工事を削除する	10
4. 工事情報	11
工事情報を編集する	11
工事名等を編集する	11
道路構築物/道路中心線形を編集する	12
CORINSから工事情報のデータを取り込む	13
5. 平面情報	14
平面情報ウィンドウを表示する	14
平面線形を入力する	14
座標によるIP点の入力をおこなう	14
角度と距離によるIP点の入力をおこなう	15
主要点座標を直接入力する	16
測点を編集する	17
測点の作成方法を変更する	17
測点を追加/削除する	17
基準点を編集する	18
水準点を編集する	18
座標点を編集する	18
平面情報をExcel出力する	18

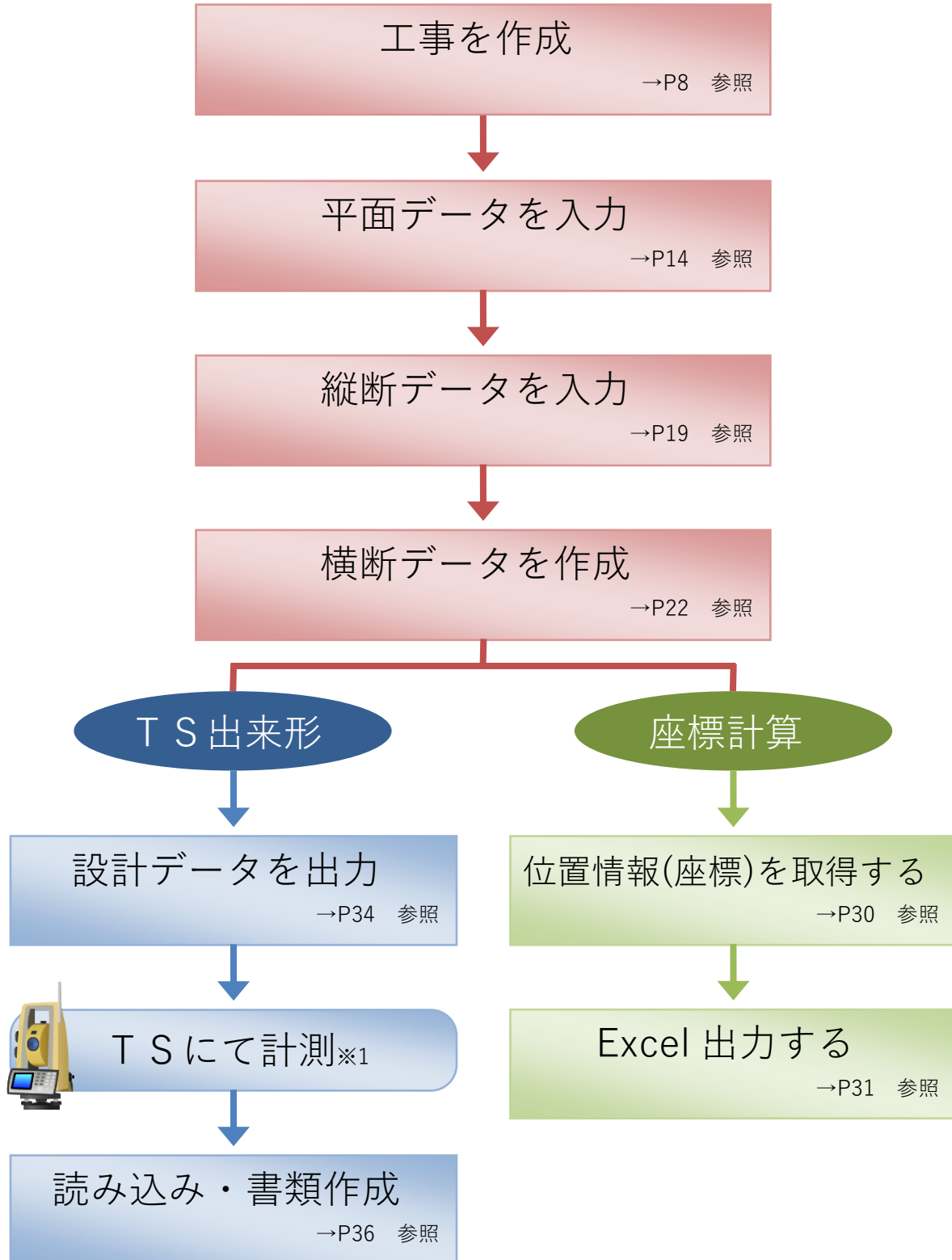
6. 縦断情報.....	19
縦断情報ウィンドウを表示する.....	19
測点を編集する.....	19
平面情報から測点を読み込む.....	19
測点を追加/削除する.....	20
縦断変化点を編集する.....	20
縦断情報をExcel出力する.....	21
7. 横断情報.....	22
標準横断をウィンドウを表示する.....	22
標準横断を編集する.....	22
標準横断を追加する.....	22
標準横断を削除する.....	23
横断一覧を編集する.....	23
測点を追加/削除する.....	23
基にする標準横断を変更する.....	24
標準横断図・測点の横断図を編集する.....	24
横断部品を追加する.....	24
横断部品を削除する.....	26
管理項目を編集する.....	27
構成要素を編集する.....	28
横断図の部品の寸法を編集する.....	28
部品の寸法を修正する.....	28
部品の変化点を設定/解除する.....	28
二重断面を設定/解除する.....	29
中心線形離れを設定する.....	29
寸法一覧をExcel出力する.....	29
位置情報を取得する.....	30
指定した点の計画高/センターからの離れ距離/XY座標/器械からの水平距離/BS点からの方向角 を取得する.....	30
器械点/BS点を登録する.....	30
ふかし/上げ下げを設定する.....	31
位置情報をExcel出力する.....	31
現地盤を入力する.....	31
現地盤を入力する.....	31
SIMAデータを取り込む.....	32

8. 図の表示	33
図の表示を変更する	33
図を拡大/縮小する	33
図を全体表示する	33
平面図の点の表示/非表示を切り替える	33
横断面の寸法線の表示/非表示を切り替える	33
二重断面の測点の横断面の起点側/終点側を切り替える	33
9. TS出来形管理/情報化施工	34
断面構成/管理断面を編集する	34
データ入出力を行う	34
TS出来形用 施工管理データ(XML)を出力する	34
TS出来形用 施工管理データ(XML)を読み込む	36
道路中心線形データを読み込む	38
MC/MG等の情報化施工用設計データ(LandXML)を出力する	40
TS出来形帳票を出力する	41
10. 部品管理	43
分類を管理する	43
分類タブを追加する	43
分類タブを編集する	43
分類タブを削除する	44
部品フォルダを管理する	45
部品フォルダを追加する	45
部品フォルダを編集する	45
部品フォルダを削除する	46
部品グループを並び替える	47
部品を管理する	47
部品を追加する	47
路盤部品を作成する	48
部品を編集する	49
部品の寸法を変更する	50
部品を複製する	51
部品を移動する	52
部品を削除する	52
部品名を変更する	53
部品を検索する	54
11. 部品作成/編集	55

オブジェクトの作成	55
直交モード.....	55
オブジェクトスナップ.....	55
線の作成.....	56
円の作成.....	57
円弧の作成.....	57
文字の作成.....	58
寸法の作成.....	59
コマンド入力.....	60
オブジェクトの選択	61
オブジェクトの編集	62
線の編集.....	62
円の編集.....	62
円弧の編集.....	63
文字の編集.....	63
寸法の編集.....	64
その他オブジェクト操作	67
オブジェクトのグループ化/グループ化解除.....	67
オブジェクトの前面/背面移動.....	67
部品接続点の設定.....	67
元に戻す/やり直し.....	68
部品として保存.....	68
12. その他の機能	69
座標系一覧を編集する.....	69
ファイル管理情報を編集する.....	69
計測機器情報を確認する.....	70
データの最適化/修復.....	70
オプションを編集する.....	71
数値の小数点以下の表示桁数を設定する.....	71
図の表示色を設定する.....	71
横断図の寸法値の文字サイズを設定する.....	72

1. 操作の流れ

操作の流れ



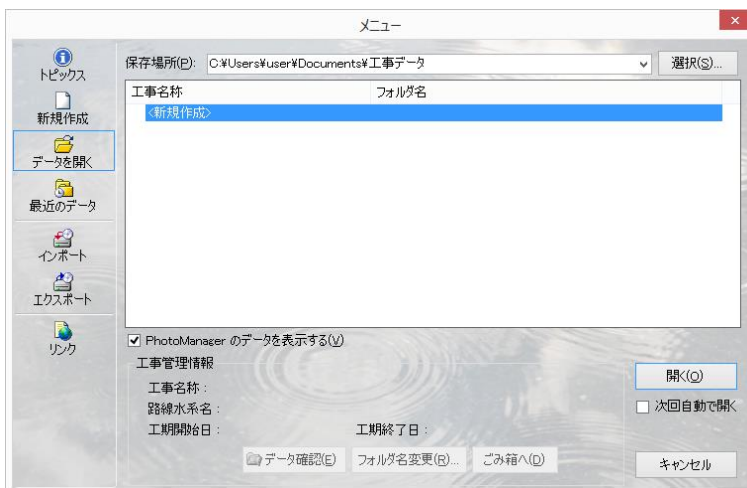
※1. TS(トータルステーション)の操作方法については各メーカーのマニュアルをご参照ください。

2. 起動と終了

情報化施工マネージャを起動する



- ① デスクトップの [QuickProject 情報化施工マネージャ] アイコンをダブルクリックします。
- ② システムが起動し、[工事の選択] ウィンドウが開きます。

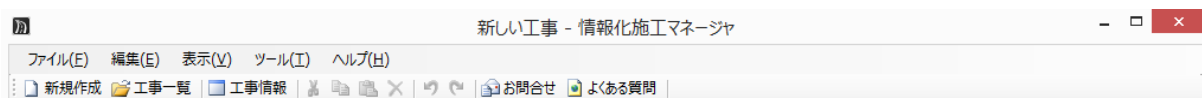


■ 起動時に[工事選択]ダイアログを表示する／しない

メニュー[ツール]-[オプション]から[表示]タブをクリックし、「起動時に[工事選択]ダイアログを表示する」にチェックがついていると表示されます。外すと表示されません。

情報化施工マネージャを終了する

- ① 画面右上の (閉じる) をクリックします。



- ② QuickProject 情報化施工マネージャが終了します。

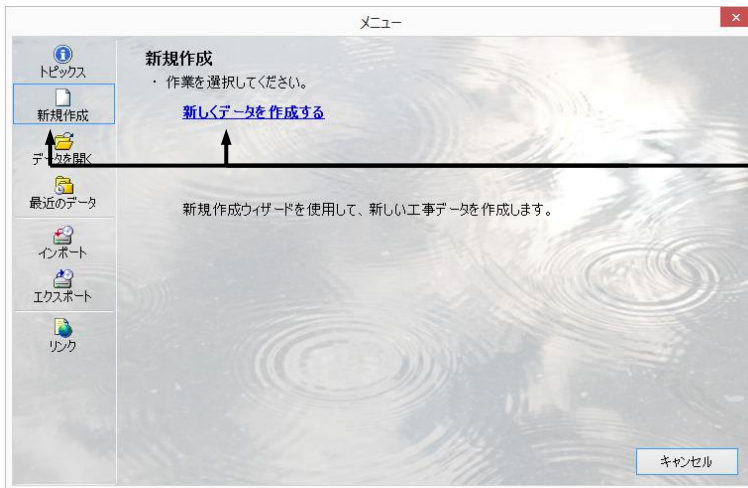
■ メニュー[ファイル]-[終了]からも終了することができます。

3. 工事の新規作成、工事の選択

新しく工事を作成する

起動時に工事を作成する

①QuickProject 情報化施工マネージャを起動します。



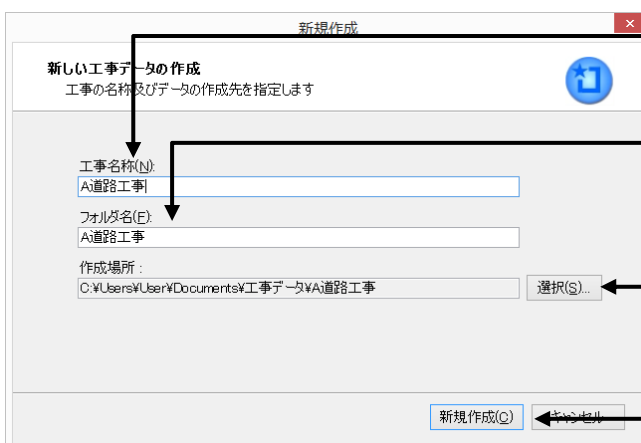
[新規作成]ボタンをクリックし、
[新しくデータを作成する]をクリックします。

■起動時に[工事の選択]ダイアログが表示されない設定になっている場合は表示されません。

メニュー[ツール]-[オプション]から[表示]タブをクリックし、「起動時に[工事選択]ダイアログを表示する」にチェックがついていると表示されます。外すと表示されません。

■[工事選択]ダイアログで<新規作成>を選択し、**開く(O)**をクリックしても新規作成できます。

②[新規作成]ダイアログが表示されます。



1. 工事名称を入力します。

フォルダ名は工事名称と同じ
名称が表示されますが、変更
が可能です。

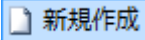
特に設定しないとハードディス
クの“Documents¥工事データ”
フォルダに保存されますが、
[選択]ボタンより変更が可能
です。

2. [新規作成]ボタンをクリック
します。

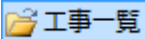
■工事名称を入力しないと、**新規作成(O)**をクリックしても工事が作成されません。

③工事情報ウィンドウが表示されますので、入力を行います。(→P11[4.工事情報]参照)

工事を新規作成する(起動時以外)

- ①メニュー[ファイル]-[新規作成]又は  をクリックします。
- ②新規作成ダイアログが表示されますので、入力を行います。(→P8[新しく工事を作成する]-②参照)

工事を新規作成する (PhotoManagerの工事情報を引き継いで工事を作成する)

- ①メニュー[ファイル]-[工事一覧]又は  をクリックします。
- ②[工事選択]ダイアログが表示されます。

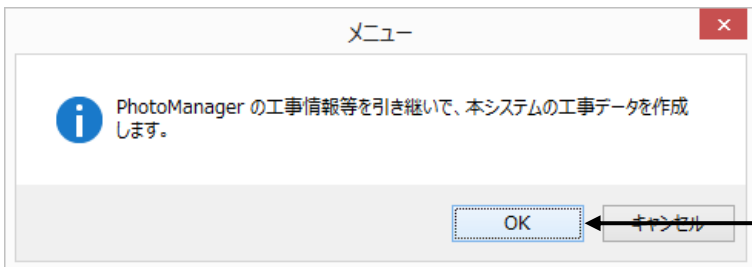


1. [PhotoManager のデータを表示する]にチェックをつけます。

2. PhotoManager で作成したデータを選択します。

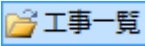
3. [開く]ボタンをクリックします。

- ④確認のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。

作成してある工事を開く

①メニュー[ファイル]-[工事一覧]又は  をクリックします。

②[工事選択]ダイアログが表示されます。

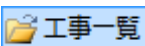


1. [データを開く]をクリックし、工事を選択します。

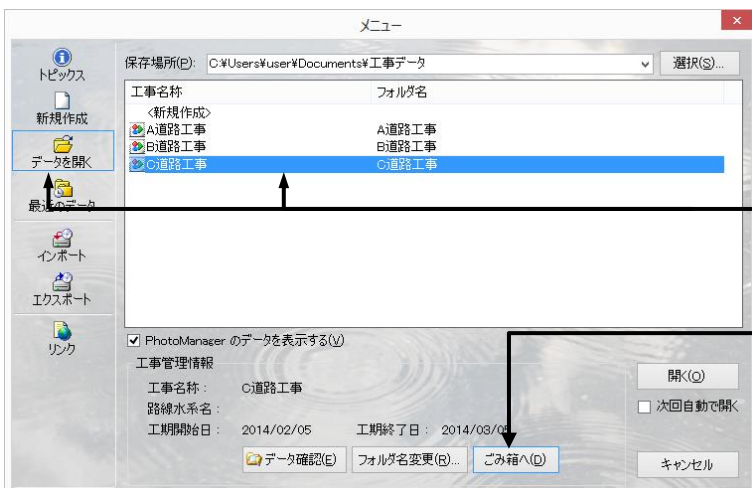
[最近のデータ]ボタンをクリックすると、保存されているフォルダに関係なく最近使用した工事が表示されます。

2. [開く]ボタンをクリックします。

工事を削除する

①メニュー[ファイル]-[工事一覧]又は  をクリックします。

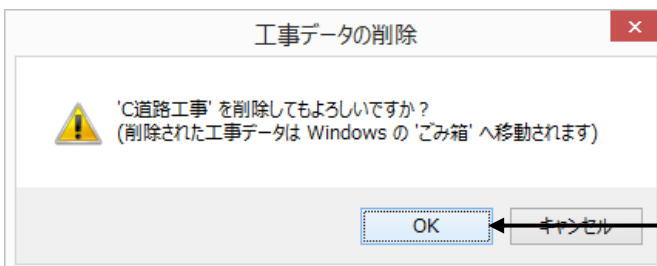
②[工事選択]ダイアログが表示されます。



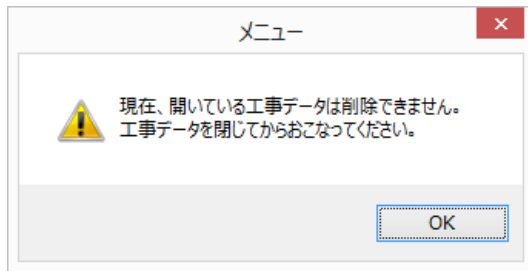
1. [データを開く]ボタンをクリックし、工事を選択します。

2. [ごみ箱へ]ボタンをクリックします。

③確認のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。

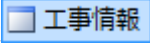


開いている工事データの削除は行えません。以下のメッセージが出て削除ができない場合には、メニュー[ファイル]-[閉じる]より工事データを閉じてから工事データの削除を行います。

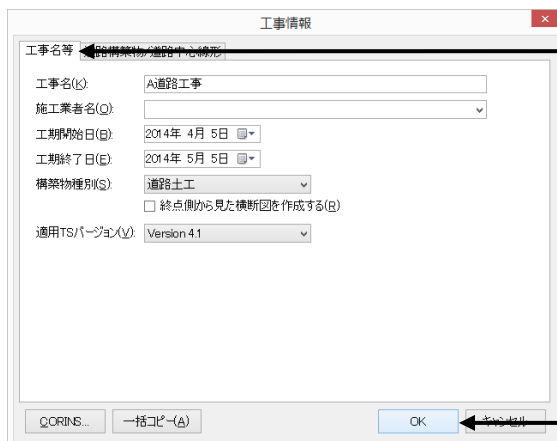
4. 工事情報

工事情報を編集する

工事名等を編集する

①メニュー[表示]-[工事情報]又は  をクリックします。

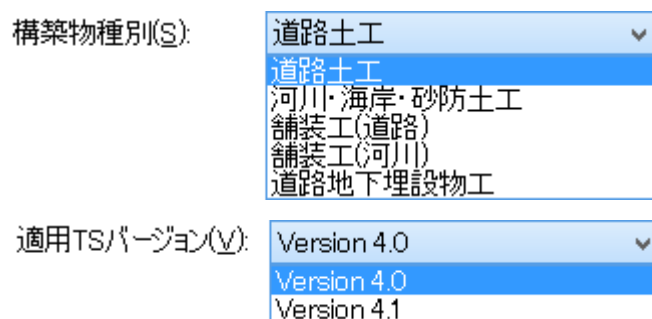
②[工事情報] ダイアログが表示されます。



1. [工事名等]タブをクリックし、工事名や施工業者名など入力します。

2. [OK]ボタンをクリックします。

■リストボックス形式になっている項目はリストより選択ができます。



■日付はカレンダーより選択できます。

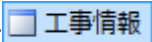
工期開始日(B): 2014年 4月 1日

工期終了日(E):

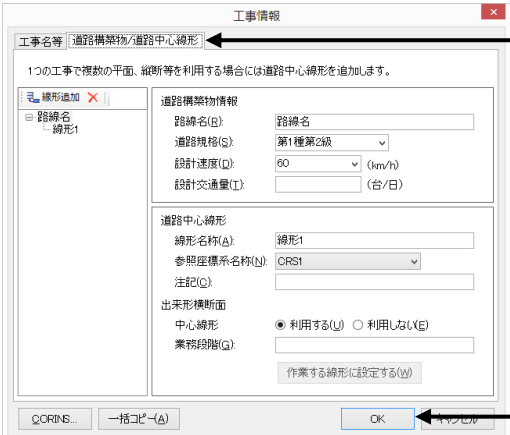
2014年4月						
日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

今日: 2014/10/07

道路構築物/道路中心線形を編集する

①メニュー[表示]-[工事情報]又は  をクリックします。

②[工事情報] ダイアログが表示されます。

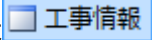


1. [道路構築物/道路中心線形]タブをクリックし、道路構築物情報、道路中心線形を入力します。

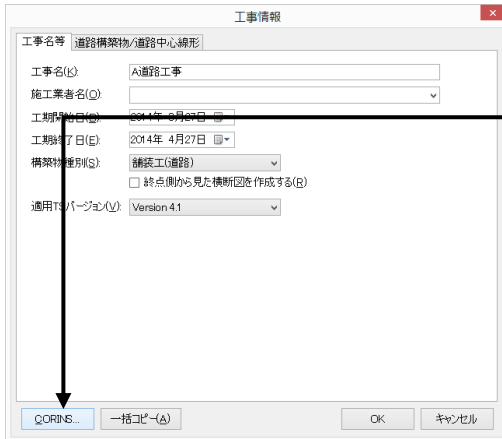
2. [OK]ボタンをクリックします。

CORINSから工事情報のデータを取り込む

工事情報にコリンズのデータを読み込むことができます。

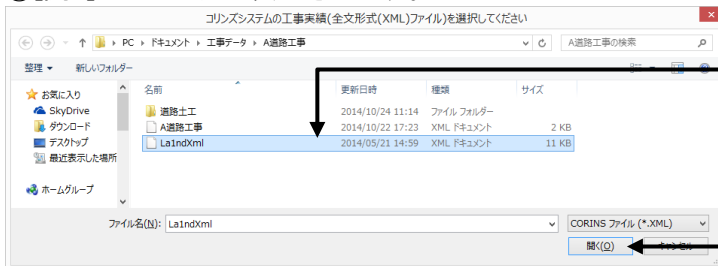
①メニュー[表示]-[工事情報]又は  をクリックします。

②[工事情報] ダイアログが表示されます。



[CORINS]ボタンをクリックします。

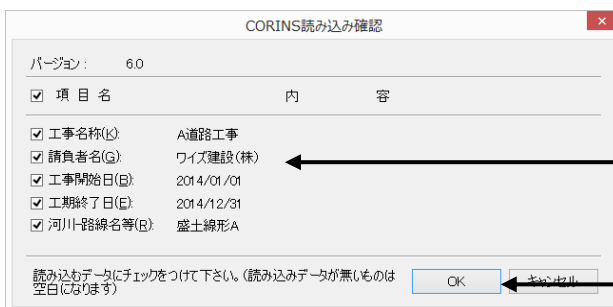
③[開く]ダイアログが表示されます。



1. コリンズのファイル(*.xml;*.cfd)を選択します。

2. [開く]ボタンをクリックします。

④[CORINS 読み込み]ダイアログが表示されます。

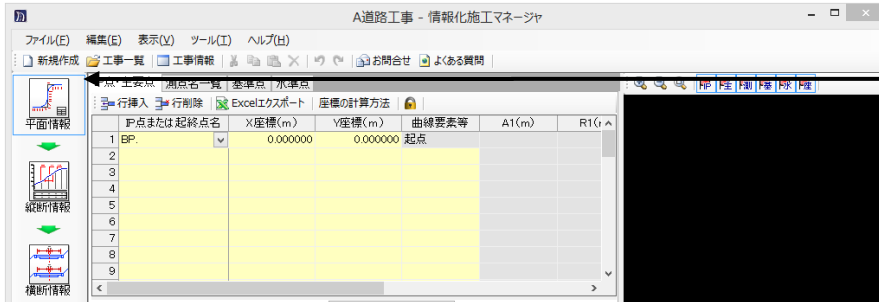


1. 読み込みたい項目にチェックをつけます。

2. [OK]ボタンをクリックします。

5. 平面情報

平面情報ウィンドウを表示する



[平面情報]ボタンをクリックします。

平面線形を入力する

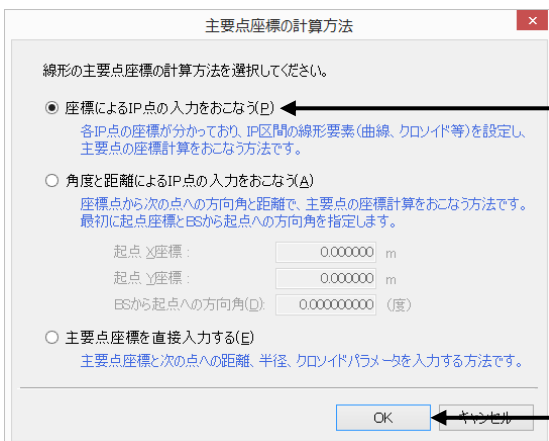
座標によるIP点の入力をおこなう

①平面情報ウィンドウを開きます。



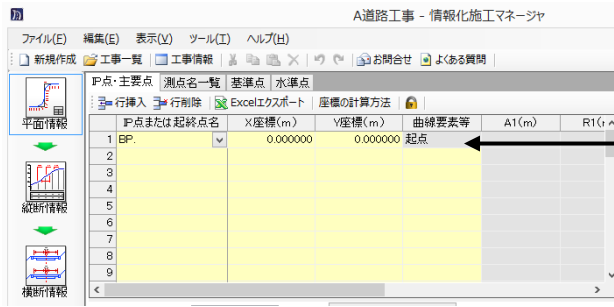
[IP点・主要点]タブ内の[座標の計算方法]をクリックします。

②[主要点座標の計算方法]ダイアログが表示されます。



1. [座標による IP 点の入力をおこなう]を選択します。

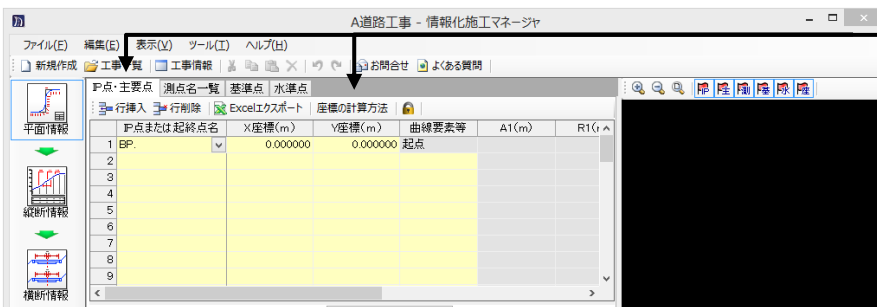
2. [OK]ボタンをクリックします。



3. IP 点または起終点名、X 座標、Y 座標などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

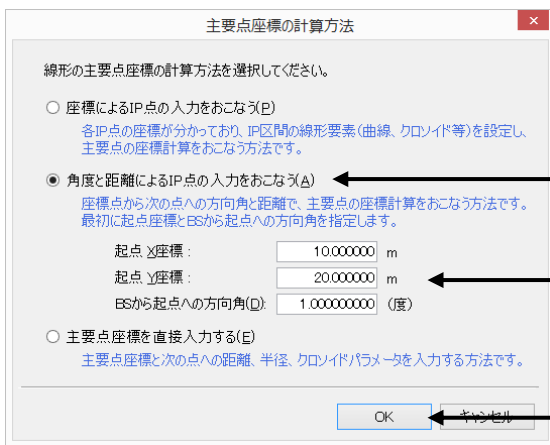
角度と距離によるIP点の入力をおこなう

①平面情報ウィンドウを開きます。



[IP 点・主要点]タブ内の[座標の計算方法]をクリックします。

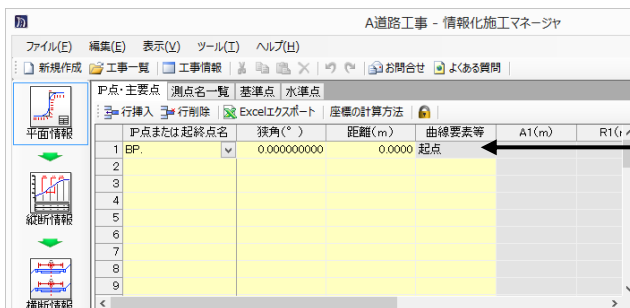
②[主要点座標の計算方法]ダイアログが表示されます。



1. [角度と距離による IP 点の入力をおこなう]を選択します。

2. 起点 X 座標、起点 Y 座標、BS から起点への方向角を入力します。

3. [OK]ボタンをクリックします。



4. IP 点または起終点名、狭角、距離などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

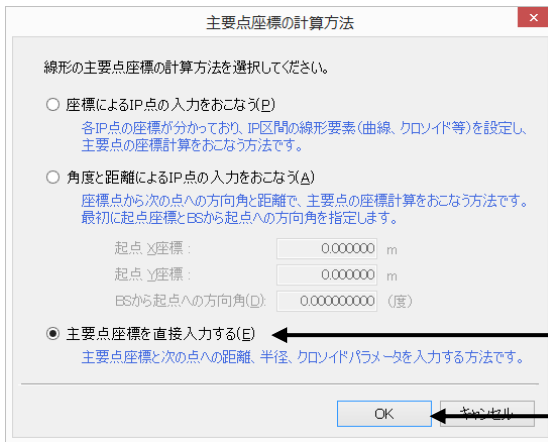
主要点座標を直接入力する

① 平面情報ウィンドウを開きます。



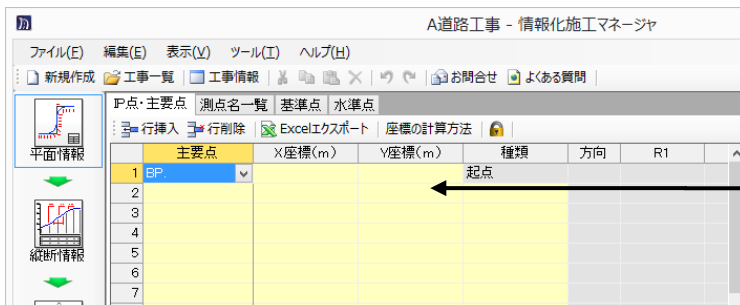
[IP 点・主要点]タブ内の[座標の計算方法]をクリックします。

② [主要点座標の計算方法]ダイアログが表示されます。



1. [主要点座標を直接入力する]を選択します。

2. [OK]ボタンをクリックします。



3. 主要点、X座標、Y座標、種類などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

測点を編集する

測点の作成方法を変更する

①平面情報ウィンドウを開きます。

1. [測点名一覧]タブをクリックします。

2. 起点追加距離などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

3. [測点一括作成]ボタンをクリックします。

測点を追加/削除する

平面情報ウィンドウを開きます。

◇測点を追加

1. [測点名一覧]タブをクリックします。

2. [測点追加]ボタンをクリックします。

[測点の追加]ダイアログが表示されます。

3. 測点名を入力します。

測点名に「NO.1+5」のように入力すると[追加距離]に自動で「25」m と表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

◇測点の削除

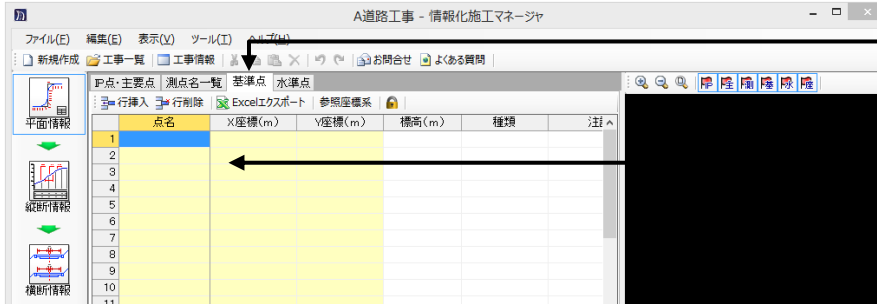
1. [測点名一覧]タブをクリックします。

2. 測点を選択し、[測点削除]ボタンをクリックします。

測点名	単距離(m)	追加距離(m)	アレーキ	X座標(m)	Y座標(m)	接線
1 EP	0.0000	60.0000		0.000000	0.000000	4
2 NO.70	10.0000	70.0000		7.071068	7.071068	4
3 NO.+80	10.0000	80.0000		14.142136	14.142136	4
4 NO.0+90	10.0000	90.0000		21.213203	21.213203	4
5 NO.1	10.0000	100.0000		28.284271	28.284271	4
6 NO.1+5	5.0000	105.0000		31.819805	31.819805	4

基準点を編集する

①平面情報ウィンドウを開きます。

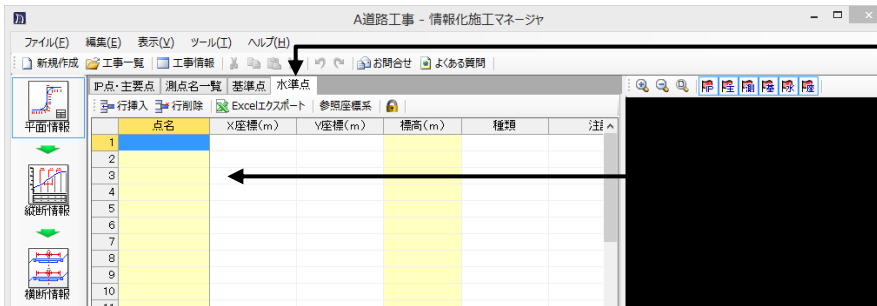


1. [基準点]タブをクリックします。

2. 点名などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

水準点を編集する

①平面情報ウィンドウを開きます。

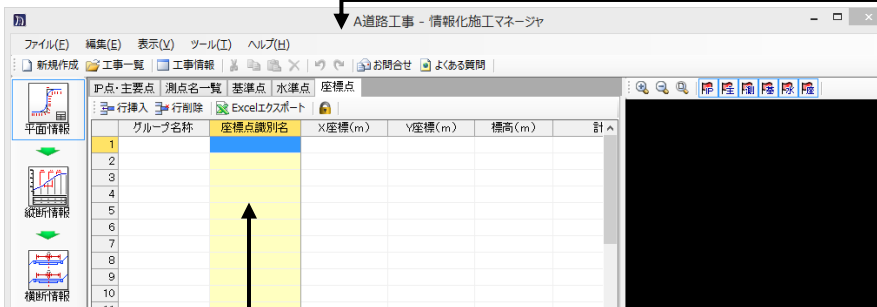


1. [水準点]タブをクリックします。

2. 点名などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

座標点を編集する

①平面情報ウィンドウを開きます。



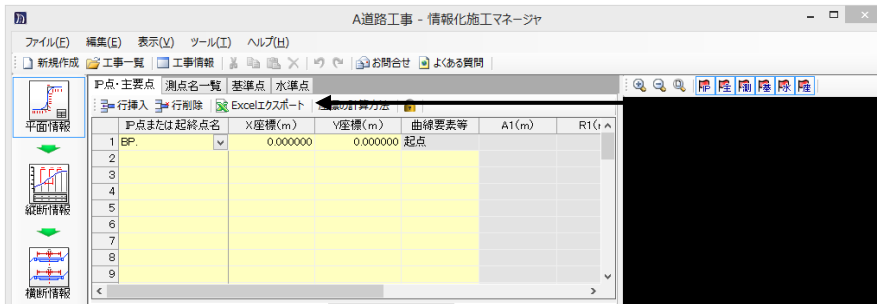
1. [座標点]タブをクリックします。

[工事情報]-[道路構築物/道路中心線形]タブで、中心線形「利用する」を選択されている場合は、座標点の編集はできません。

2. 座標点識別名などを入力します。
※黄色の列は必須項目です。

平面情報をExcel出力する

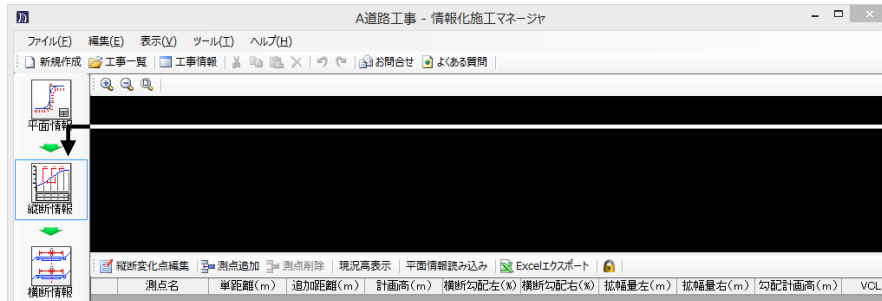
①平面情報ウィンドウを開きます。



各タブ内の[Excel エクスポート]ボタンをクリックすると、Excel に平面情報が出力されます。印刷や任意の場所に保存してご利用いただけます。

6. 縦断情報

縦断情報ウィンドウを表示する



[縦断情報]ボタンをクリックします。

測点を編集する

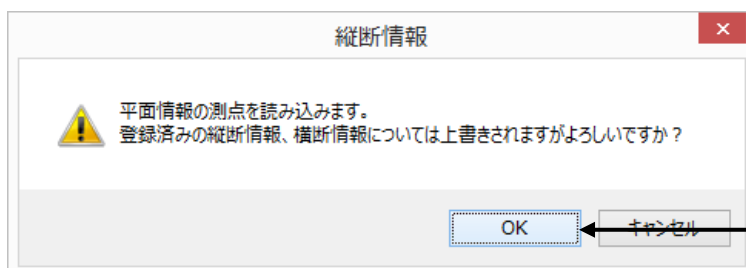
平面情報から測点を読み込む

① 縦断情報ウィンドウを開きます。



[平面情報読み込み]ボタンをクリックします。

② 確認のメッセージが表示されます。

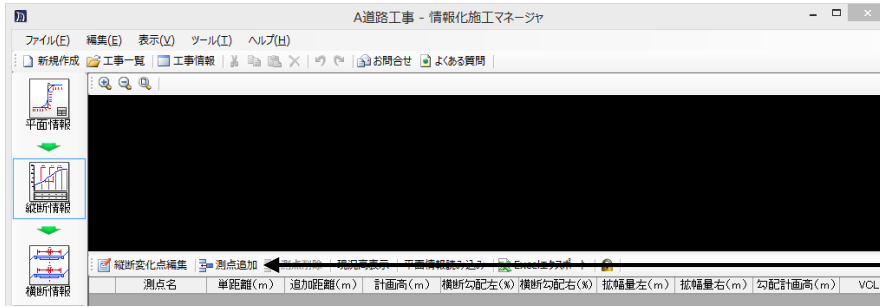


[OK]ボタンをクリックします。

測点を追加/削除する

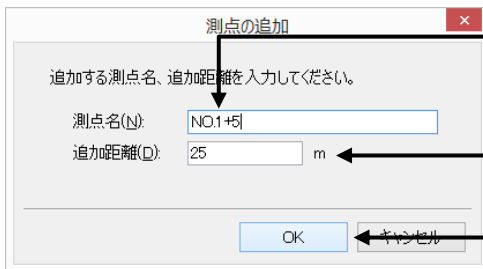
縦断情報ウィンドウを開きます。

◇測点を追加



1. [測点追加]ボタンをクリックします。

[測点の追加]ダイアログが表示されます。

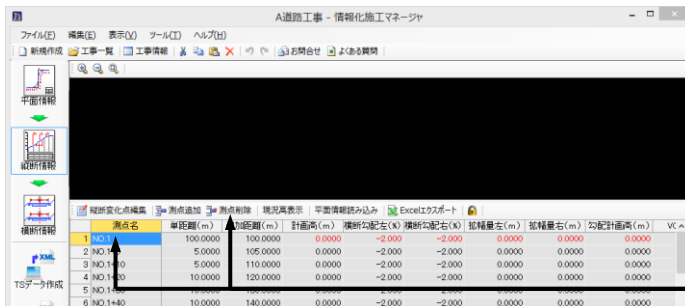


2. 測点名を入力します。

測点名に「NO.1+5」のように入力すると[追加距離]に自動で「25」mと表示されます。

3. [OK]ボタンをクリックします。

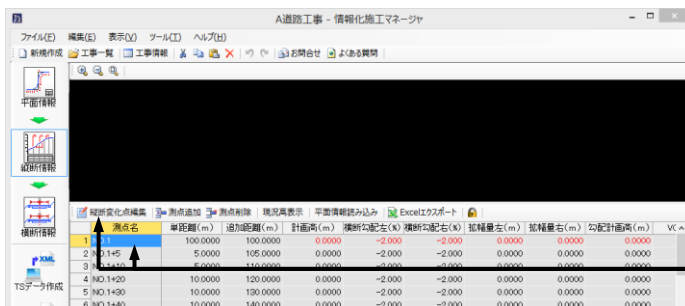
◇測点の削除



測点を選択し、[測点削除]ボタンをクリックします。

縦断変化点を編集する

①縦断情報ウィンドウを開きます。



測点を選択し、[縦断変化点編集]ボタンをクリックします。

②[縦断変化点の編集]ダイアログが表示されます。

編集する測点の切り替えが可能です。

1. 各項目を編集します。

2. [閉じる]ボタンをクリックします。

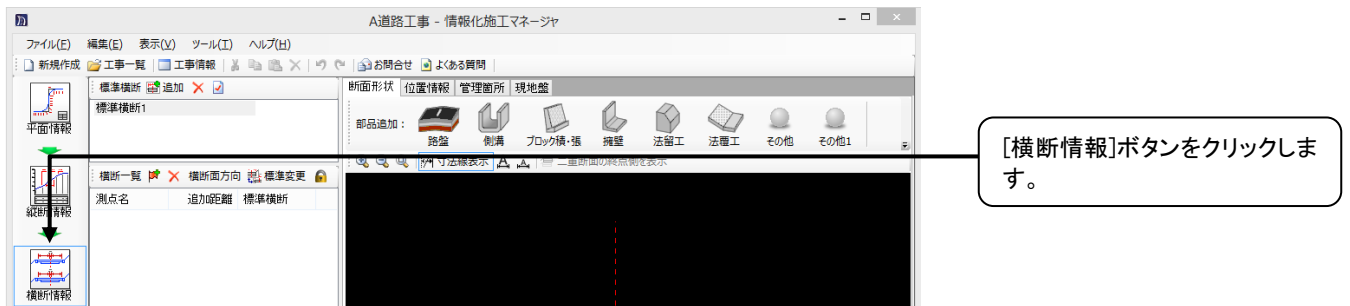
縦断情報を Excel 出力する

①縦断情報ウィンドウを開きます。

[Excel エクスポート]ボタンをクリックすると、Excelに縦断情報が出力されます。印刷や任意の場所に保存してご利用いただけます。

7. 横断情報

横断情報ウィンドウを表示する

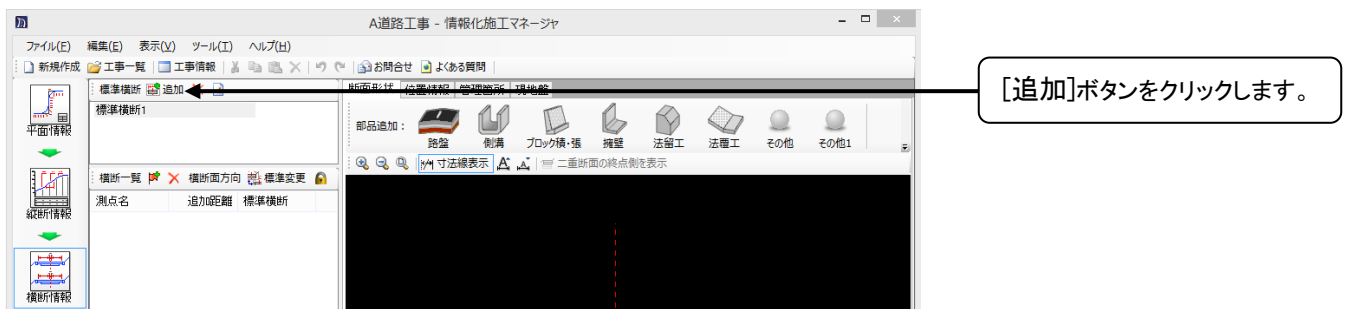


標準横断を編集する

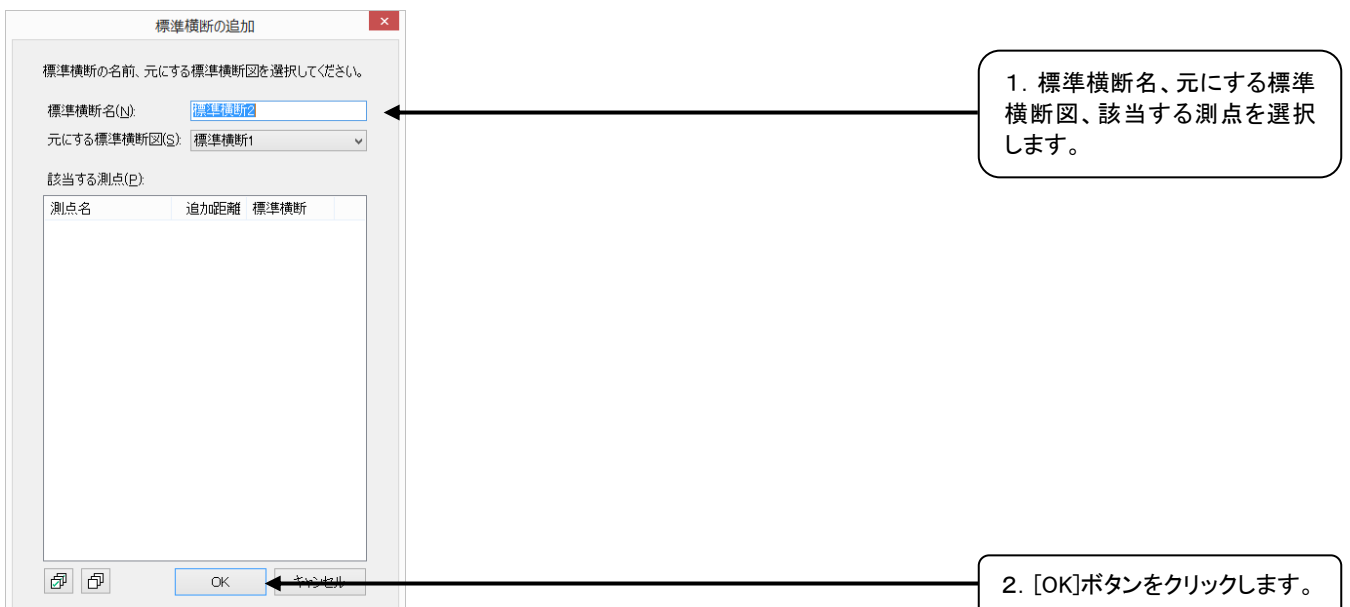
標準横断に横断図を登録しておく、各測点の横断図を一括で登録することができます。

標準横断を追加する

①横断情報ウィンドウを開きます。

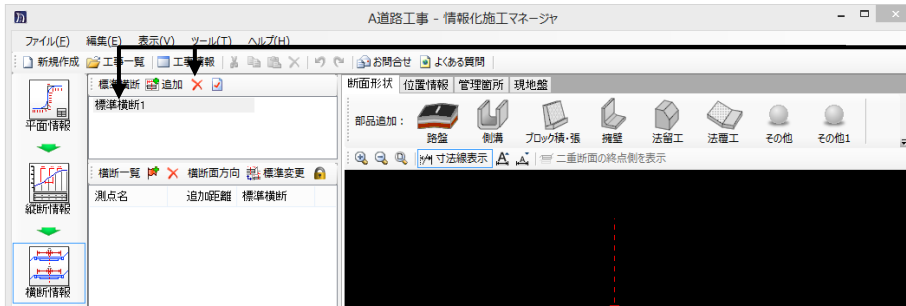



②[標準横断の追加]ダイアログが表示されます。



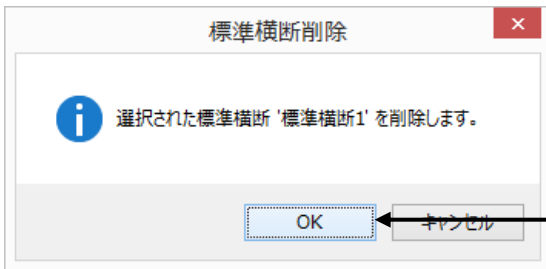
標準横断を削除する

①横断情報ウィンドウを開きます。



標準横断を選択し、 ボタンをクリックします。

②確認のメッセージが表示されます。



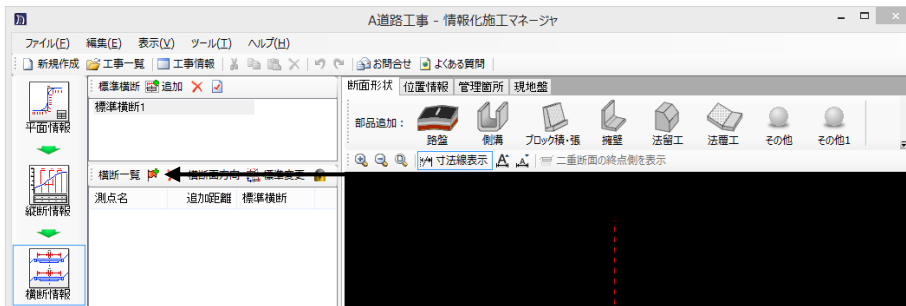
[OK]ボタンをクリックします。


横断一覧を編集する

測点を追加/削除する

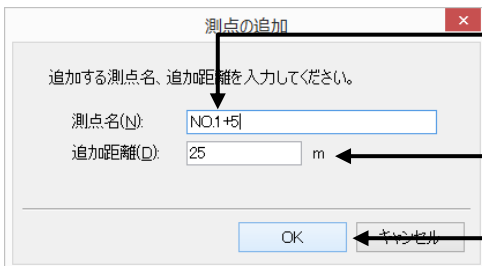
①横断情報ウィンドウを開きます。

◇測点を追加



1.  ボタンをクリックします。

[測点の追加]ダイアログが表示されます。

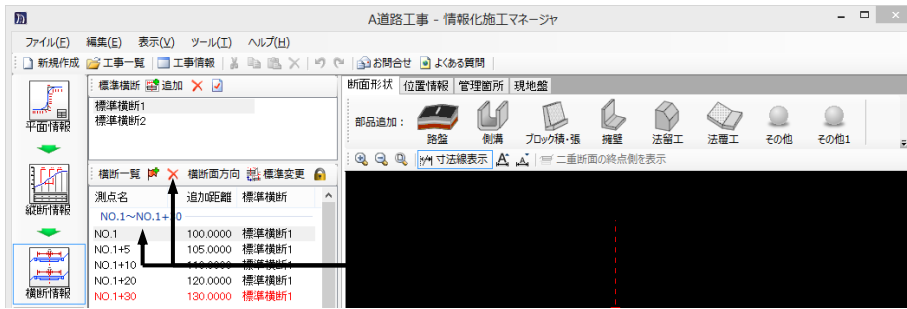


2. 測点名を入力します。

測点名に「NO.1+5」のように入力すると[追加距離]に自動で「25」mと表示されます。

3. [OK]ボタンをクリックします。

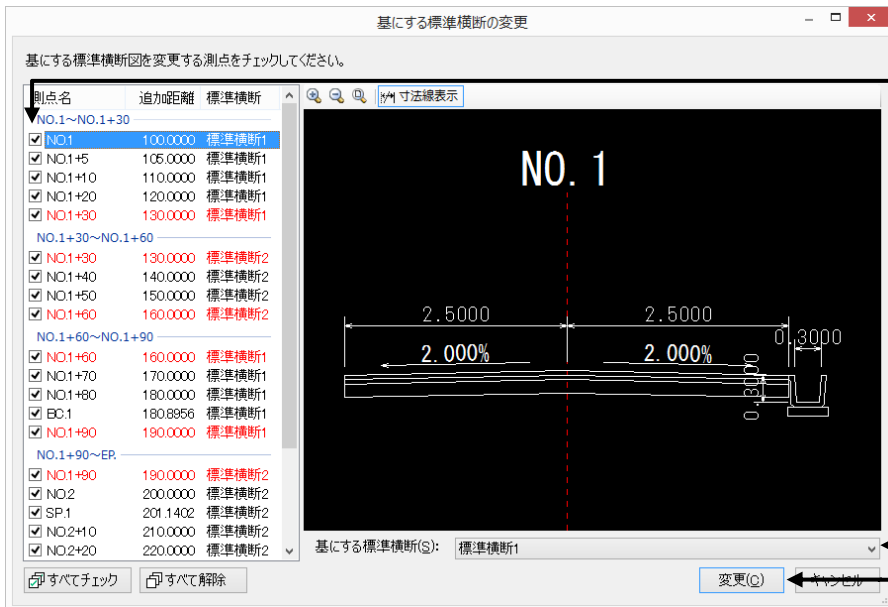
◇測点の削除



測点を選択し、 ボタンをクリックします。

基にする標準横断を変更する

- ①横断情報ウィンドウを開きます。
- ②[基にする標準横断の変更]ダイアログが表示されます。



1. 測点にチェックをつけます。

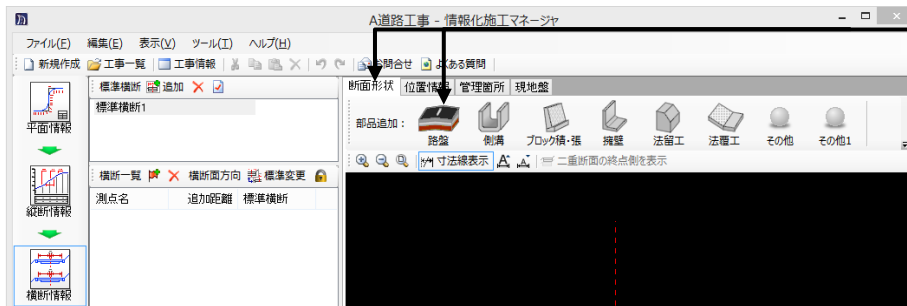
2. 基にする標準横断を選択します。

3. [変更]ボタンをクリックします。

標準横断図・測点の横断図を編集する

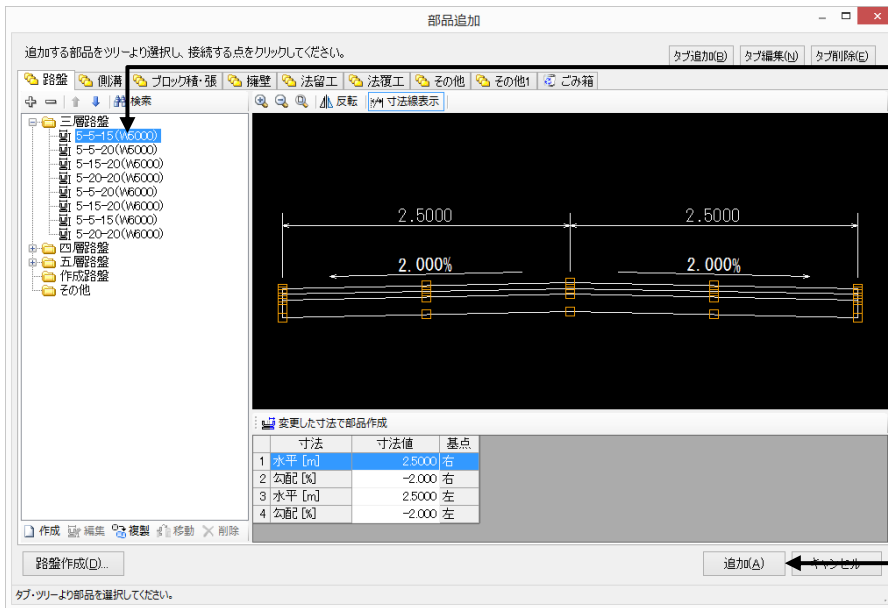
横断部品を追加する

- ①横断情報ウィンドウを開きます。



[断面形状]タブ内の[路盤]ボタンをクリックします。

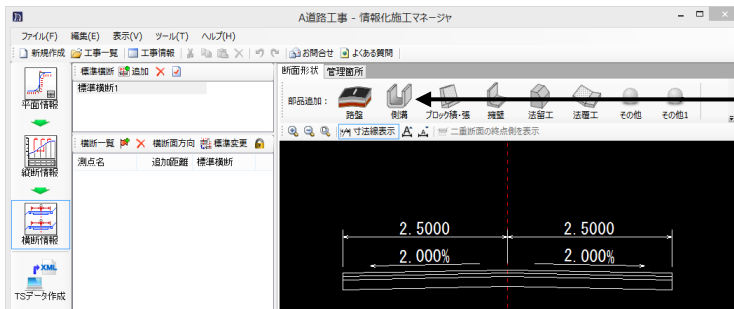
②[部品追加]ダイアログが表示されます。



1. 部品を選択します。

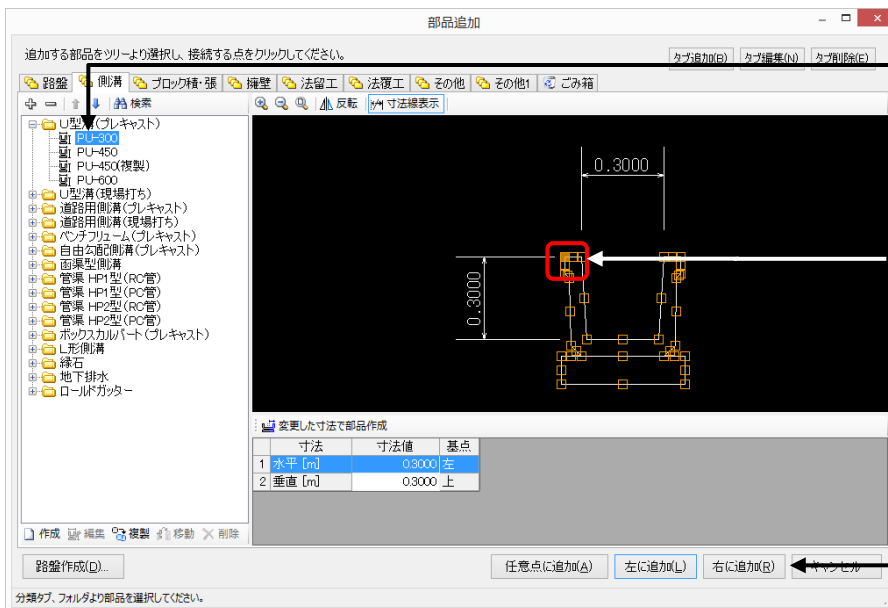
2. [追加]ボタンをクリックします。

③部品が追加されます。



[側溝]ボタンをクリックします。

④[部品追加]ダイアログが表示されます。

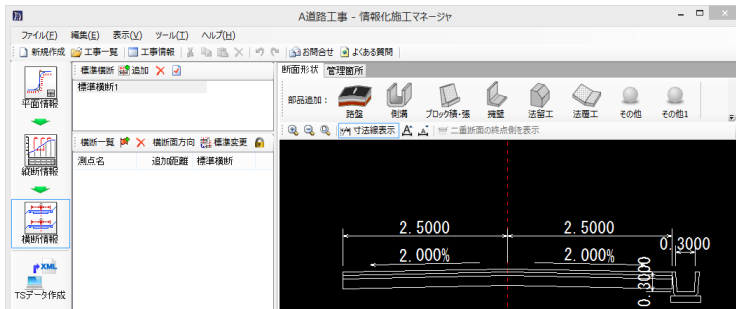


1. 部品を選択します。

2. 接続する点を指定します。

3. [任意点に追加]、[左に追加]、[右に追加]ボタンのいずれかをクリックします。

⑤部品が追加されます。



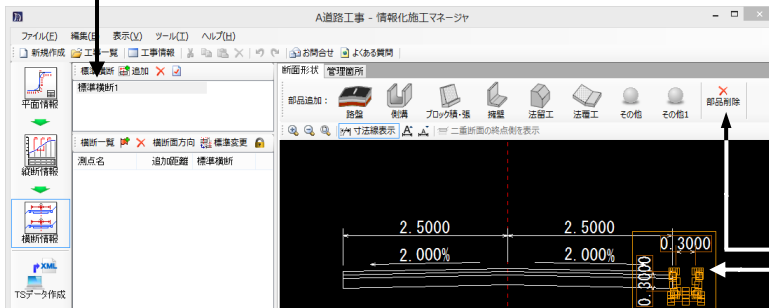
①～⑤と同じ手順で、必要な部品を追加します。

■該当する部品がない場合は、部品の作成ができます。(P47[部品を管理する]参照)

横断部品を削除する

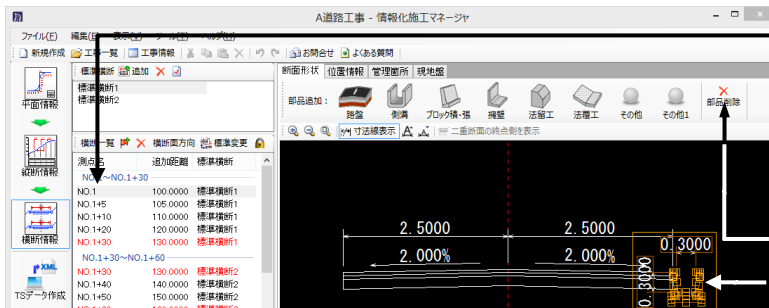
①横断情報ウィンドウを表示します。

◇標準横断から横断部品を削除する場合



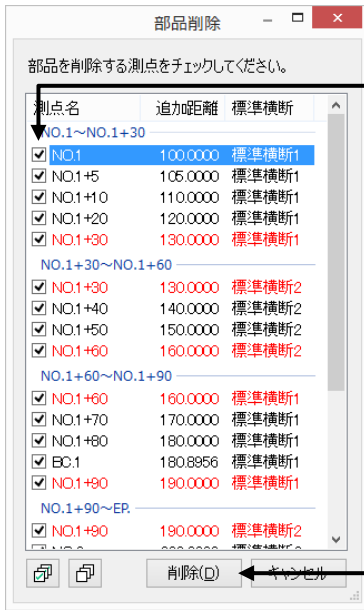
1. 標準横断を選択します。
2. 部品を選択します。
3. [部品削除]ボタンをクリックします。

◇各測点から横断部品を削除する場合



1. 測点を選択します。
2. 部品を選択します。
3. [部品削除]ボタンをクリックします。

②[部品削除]ダイアログが表示されます。



1. 測点にチェックをつけます。

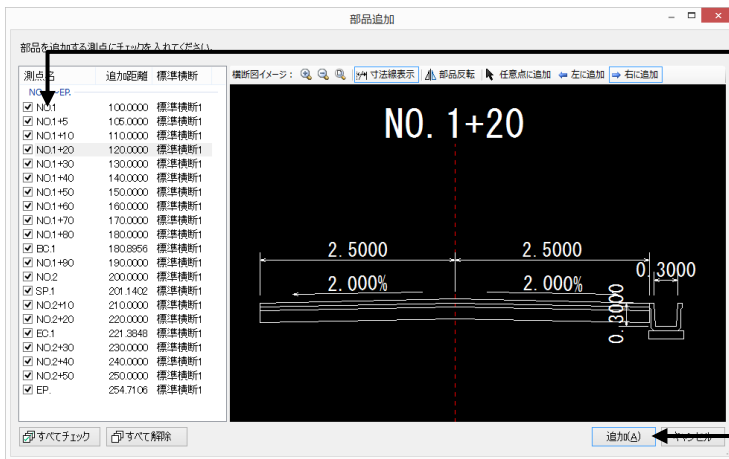
2. [削除]ボタンをクリックします。

管理項目を編集する

各断面ごとに部品の追加や削除が行えます。

①P24[横断部品を追加する]③~④を参考に部品の選択を行います。

②[部品追加]ダイアログが表示されます。



1. 追加したい測点にチェックをつけます。

2. [追加]ボタンをクリックします。

■部品の削除も同様の手順にて行います。

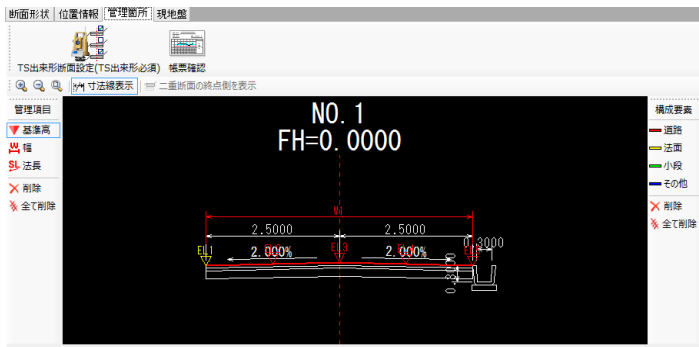
構成要素を編集する

①横断情報ウィンドウを表示します。



1. 測点を選択します。
2. [管理箇所]タブをクリックします。
3. 管理項目や構成要素を選択します。
4. 図の中で追加したい箇所をクリックします。

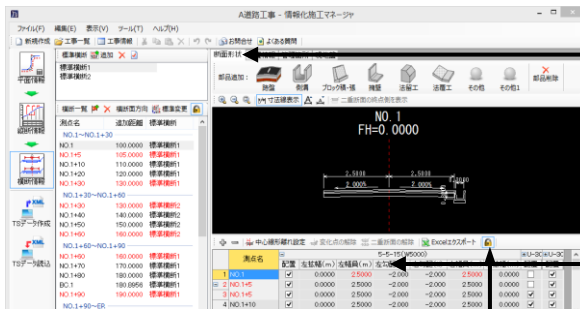
各項目が表示されます。




横断図の部品の寸法を編集する

部品の寸法を修正する

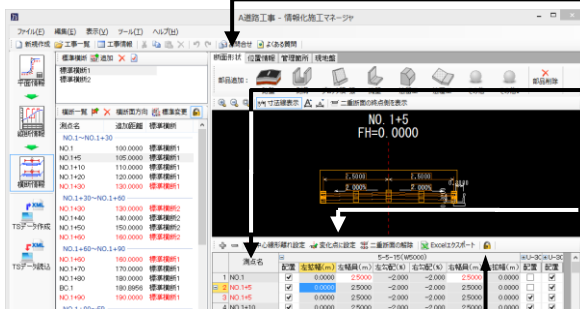
①横断情報ウィンドウを表示します。




1. [断面形状]タブをクリックします。
2. 左幅員や右幅員の数値を変更します。
- 変更ができない場合は、 ボタンをクリックします。

部品の変化点を設定/解除する

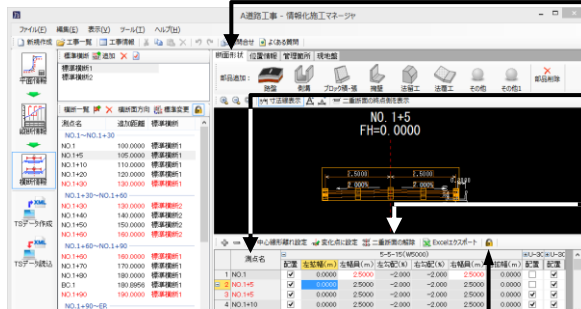
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。
2. 測点を選択します。
3. [変化点の設定/解除]ボタンをクリックします。
- 設定/解除ができない場合は、 ボタンをクリックします。

二重断面を設定/解除する


①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

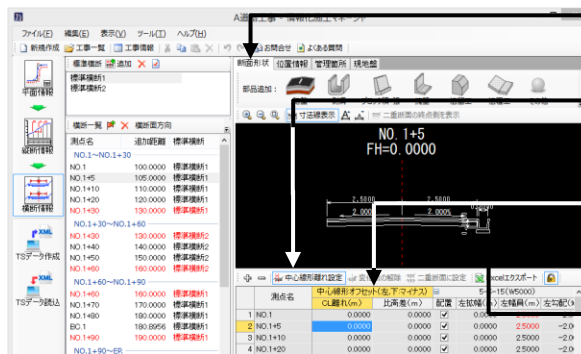
2. 測点を選択します。

3. [二重断面の設定/解除]ボタンをクリックします。

設定/解除ができない場合は、 ボタンをクリックします。

中心線形離れを設定する


①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブを開きます。

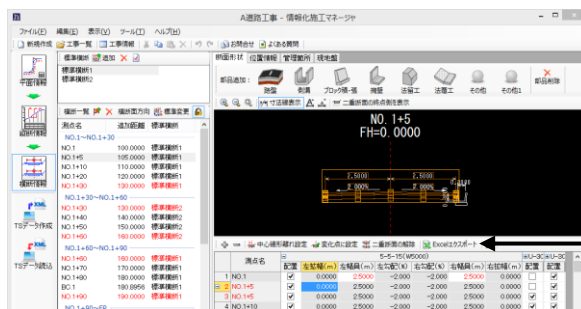
2. [中心線形離れ設定]ボタンをクリックします。

3. CL 離れ、比高差を入力します。

入力ができない場合は、 ボタンをクリックします。

寸法一覧を Excel 出力する

①横断情報ウィンドウを表示します。




[Excel エクスポート]ボタンをクリックすると、Excelに寸法一覧が出力されます。印刷や任意の場所に保存してご利用いただけます。

位置情報を取得する

指定した点の計画高/センターからの離れ距離/XY 座標/器械からの水平距離/BS 点からの方向角を取得する

①横断情報ウィンドウを表示します。



1. 測点を選択します。

2. [位置情報]タブをクリックします。

3. 座標を表示したい点を図面上から指定(クリック)します。


4. 計画高、センターからの離れ距離、X座標、Y座標が表示されます。

測点名	追加距離(m)	距離(m) C&P(Comp)	中心距離(m) C&P(Comp)	X座標(m)	Y座標(m)
1 NO.1	100.0000	0.0000	L 2.5000	30.070251	26.496291
2 NO.145	105.0000	0.0000	L 2.5000	33.606785	30.030625
3 NO.140	105.0000	0.0000	L 2.5000	33.606785	30.030625
4 NO.110	110.0000	0.0000	L 2.5000	37.144319	33.566259

■器械点およびBS点の登録を行うことにより、器械からの水平距離/BS点からの方向角が取得できます。(器械点およびBS点の登録方法は下記参照)

器械点/BS点を登録する

①横断情報ウィンドウを表示します。

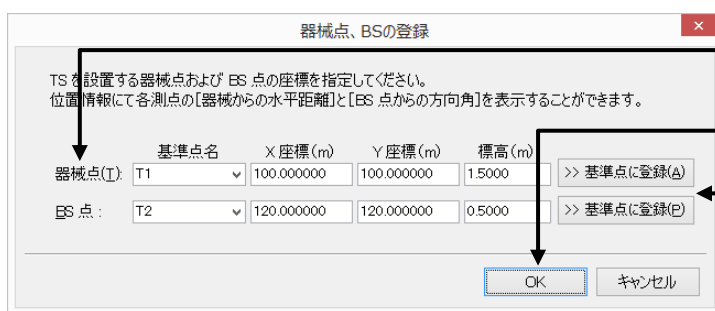


1. 測点を選択します。

2. [位置情報]タブをクリックします。

3. [器械点、BSの登録]ボタンをクリックします。

②[器械点、BSの登録]ダイアログが表示されます。



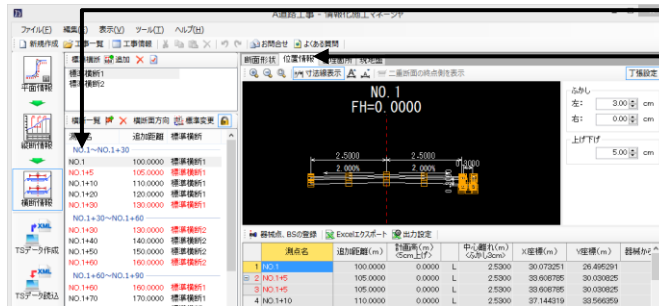
1. 器械点、BS点を入力します。

2. [OK]ボタンをクリックします。

[基準点に登録]ボタンをクリックし、入力した器械点、BS点を基準点に登録することができます。

ふかし/上げ下げを設定する

①横断情報ウィンドウを表示します。

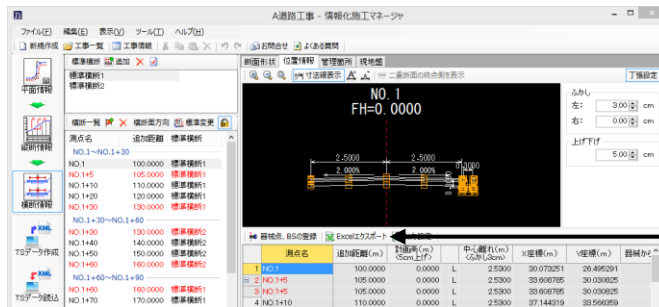


1. 測点を選択します。
2. [位置情報]タブをクリックします。
- 入力欄が表示されていない場合は[丁張設定]ボタンをクリックします。
3. ふかし、上げ下げを入力します。

- 「ふかし」を設定すると、「中心離れ」の下に設定した数値が表示されます。
- 「上げ下げ」を設定すると「計画高」の下に設定した数値が表示されます。

位置情報を Excel 出力する

①横断情報ウィンドウを表示します。

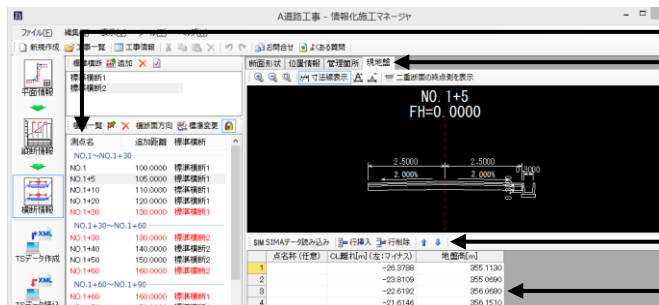


[Excel エクスポート]ボタンをクリックすると、Excelに位置情報が出力されます。印刷や任意の場所に保存してご利用いただけます。

現地盤を入力する

現地盤を入力する

①横断情報ウィンドウを表示します。



1. 測点を選択します。
2. [現地盤]タブをクリックします。
- 行挿入、行削除、並び替えが行えます。
3. 点名称、CL 離れ、地盤高を入力します。

SIMA データを取り込む

①横断情報ウィンドウを表示します。

1. 測点を選択します。

2. [現地盤]タブをクリックします。

3. [SIMA データ読み込み]ボタンをクリックします。

②[開く]ダイアログが表示されます。

1. SIMA ファイル(*.sim)を選択します。

2. [開く]ボタンをクリックします。

③[SIMA 読み込み設定]ダイアログが表示されます。



1. 読み込み測点をプルダウンより選択します。

2. [OK]ボタンをクリックします。


8. 図の表示

図の表示を変更する

図を拡大/縮小する

各入力画面にあるで拡大、で縮小できます。また図の拡大/縮小したい個所をクリックしマウスホイールでの拡大/縮小することも可能です。







図を全体表示する

各入力画面にあるで図全体が表示されます。

平面図の点の表示/非表示を切り替える

①平面情報ウィンドウを表示します。



      の各ボタンで平面図の点の表示/非表示が切り替えられます。

 ..IP点  ..主要点  ..測点  ..基準点  ..水準点  ..座標点

横断面図の寸法線の表示/非表示を切り替える

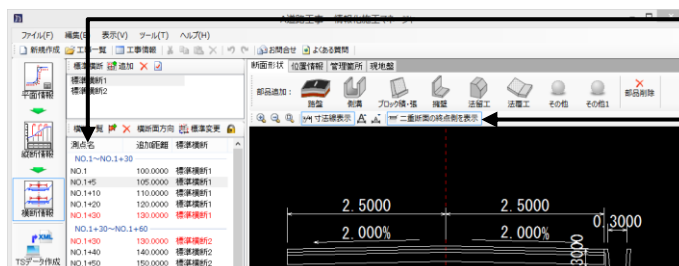
①横断情報ウィンドウを表示します。



[寸法線表示]ボタンをクリックします。

二重断面の測点の横断面図の起点側/終点側を切り替える

①横断情報ウィンドウを表示します。



1. 二重断面の測点を選択します。

2. [二重断面の起点側/終点側を表示]ボタンをクリックします。

9. TS 出来形管理/情報化施工

断面構成/管理断面を編集する

①横断情報ウィンドウを表示します。

1. 測点を選択します。

2. [管理箇所]タブをクリックします。

3. [TS 出来形断面設定(TS 出来形必須)]ボタンをクリックします。

②[TS 出来形断面設定]ダイアログが表示されます。

測点名	追加距離	横断構成(左)	横断構成(右)	管理断面
1 NO.1	100.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
2 NO.1+5	105.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
3 NO.1+10	110.0000	路床盛土工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
4 NO.1+20	120.0000	路床盛土工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
5 NO.1+30	130.0000	その他	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
6 NO.1+30	130.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
7 NO.1+40	140.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
8 NO.1+50	150.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
9 NO.1+60	160.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
10 NO.1+60	160.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
11 NO.1+70	170.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
12 NO.1+80	180.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
13 BC.1	180.8956	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
14 NO.1+90	190.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>
15 NO.1+90	190.0000	掘削工	掘削工	<input checked="" type="checkbox"/>

1. 横断構成をプルダウンより選択します。出来形管理を行う測点の場合には、[管理断面]にチェックをつけます。

2. [OK]ボタンをクリックします。

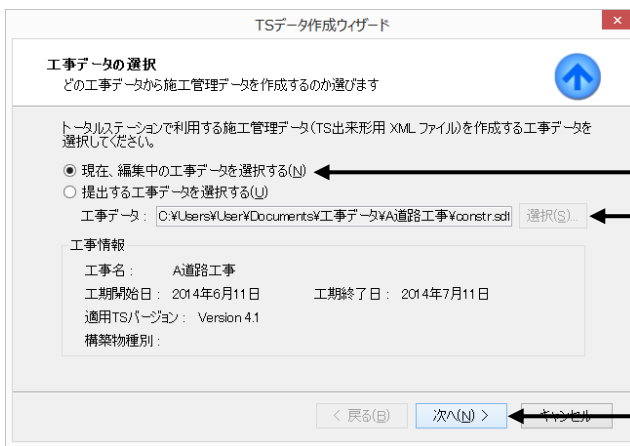
データ入出力を行う

TS 出来形用 施工管理データ(XML)を出力する

①TS 出来形用 施工管理データ(XML)を出力します。

[TS データ作成]ボタンをクリックします。

②[TS データ作成ウィザード]が表示されます。工事データの選択を行います。

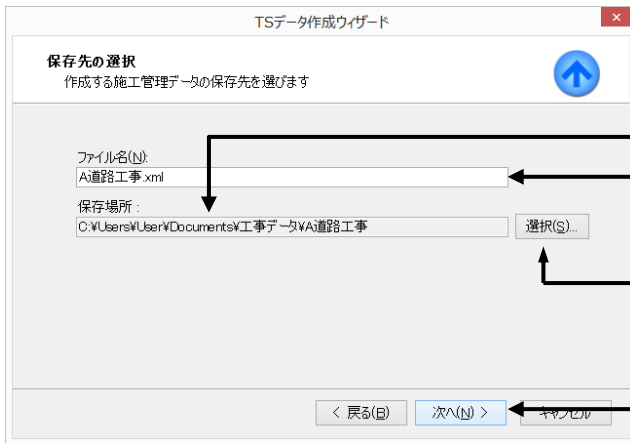


1. [現在、編集中の工事データを選択する]にチェックを付けます。

編集中の工事データ以外でデータを作成する場合は、[提出する工事データを選択する]にチェックをつけ[選択]ボタンから工事データフォルダ内の["constr.sdf"]ファイルを選択します。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

③保存先の選択を行います。



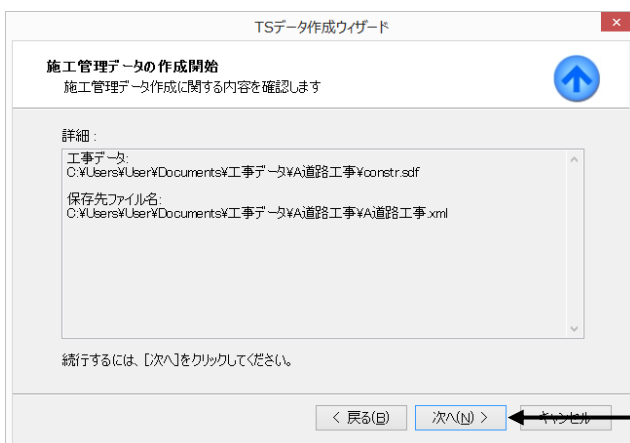
1. 保存場所を確認します。

ファイル名の変更も可能です。

[選択]ボタンより保存場所を変更することも可能です。

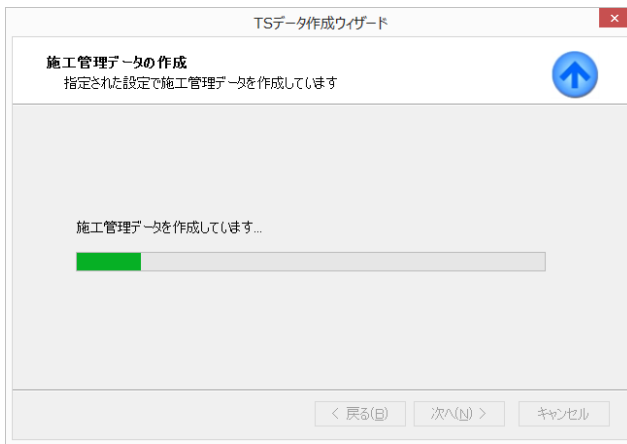
2. [次へ]ボタンをクリックします。

④工事データや保存先ファイル名を確認します。

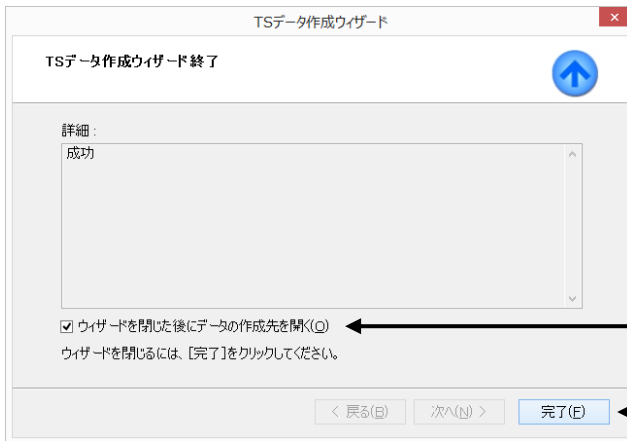


[次へ]ボタンをクリックします。

⑤ 施工管理データの作成が開始されます。



⑥ 施工管理データの作成終了となります。

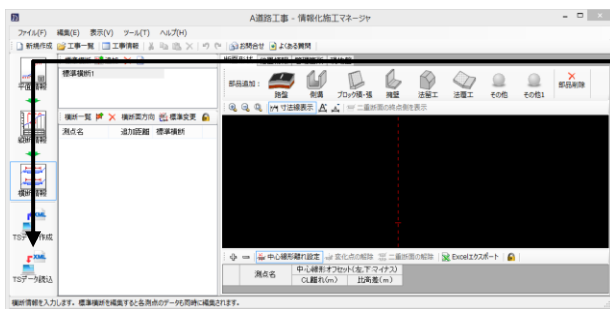


チェックを入れると、作成された施工管理データが保存されたフォルダが開かれます。

1. [完了]ボタンをクリックします。

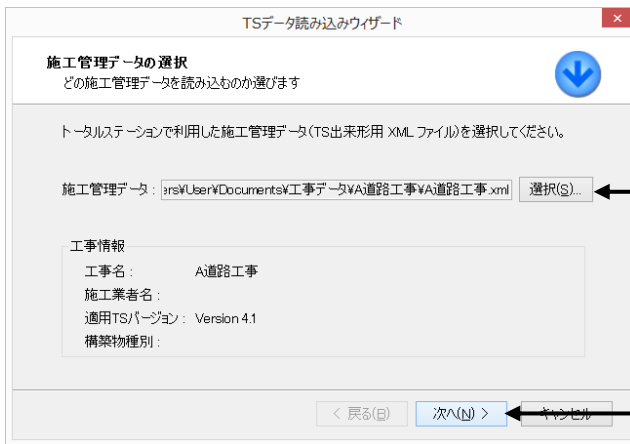
TS 出来形用 施工管理データ(XML)を読み込む

① TS 出来形用 施工管理データ(XML)を読み込みます。



[TS データ読み込み]ボタンをクリックします。

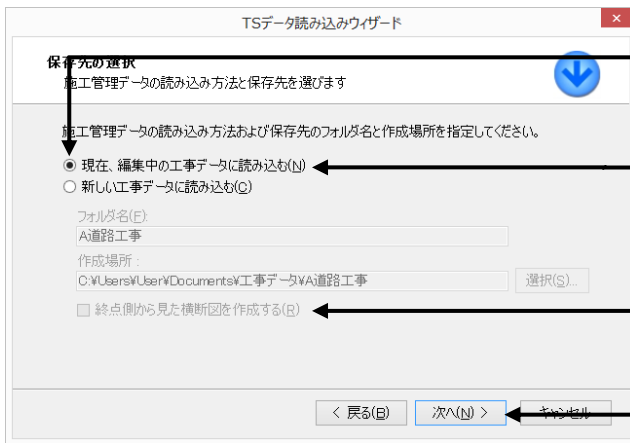
②[TS データ読み込みウィザード]が表示されます。



1. [選択]ボタンをクリックし、トータルステーションで利用した施工管理データファイル(*.xml)を選択します。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

③施工管理データの読み込み方法と保存先を選択します。



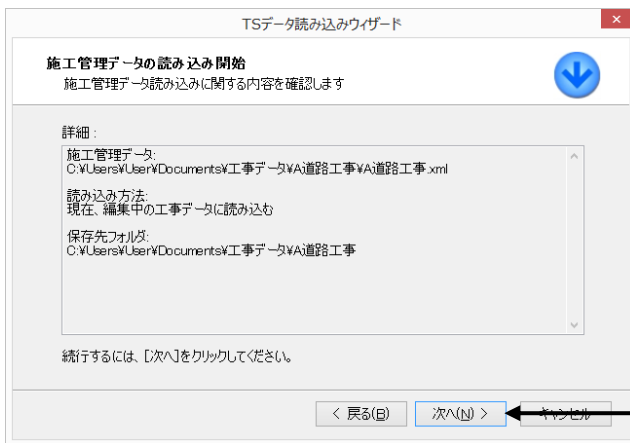
1. データの読み込み方法を選択します。

読み込むデータの設計データが異なる場合は、[現在、編集中のデータに読み込む]は選択できません。

チェックを入れると横断面図が自動で作成されます。

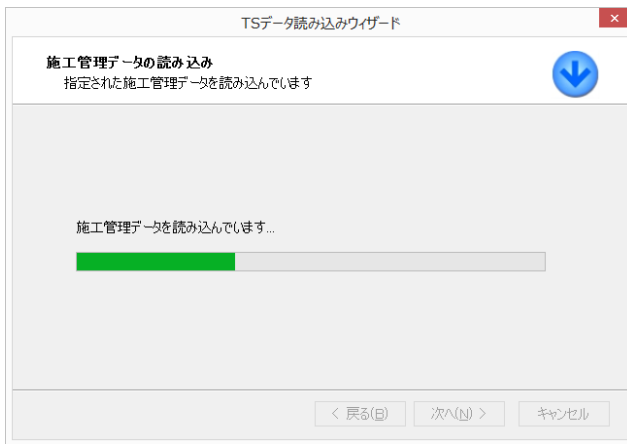
2. [次へ]ボタンをクリックします。

④施工管理データや読み込み方法、保存先フォルダを確認します。

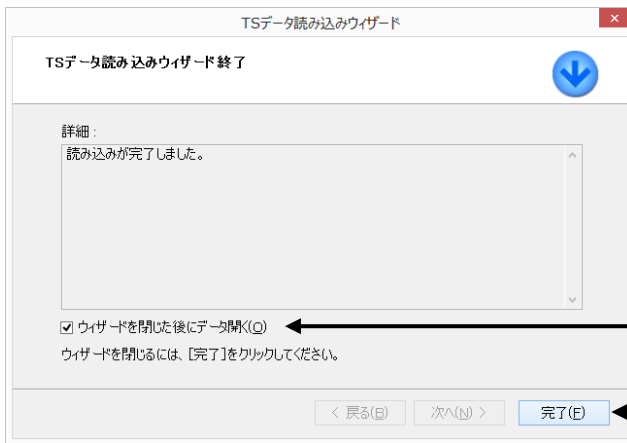


[次へ]ボタンをクリックします。

⑤施工管理データの読み込みが開始されます。



⑥施工管理データの読み込み終了となります。



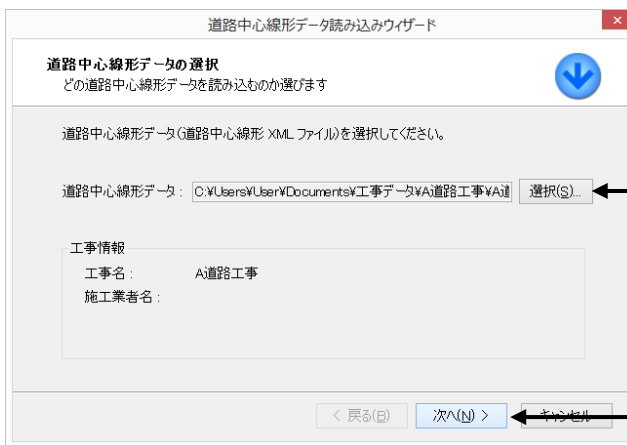
チェックを入れると読み込んだデータが開かれます。

1. [完了]ボタンをクリックします。

道路中心線形データを読み込む

①メニュー[ファイル]-[道路中心線形データ読み込み]をクリックします。

②[道路中心線形データ読み込みウィザード]が表示されます。



1. [選択]ボタンをクリックし、道路中心線形データファイル(*.xml)を選択します。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

③道路中心線形データの読み込み方法と保存先を選択します。

1. [新しい工事データに読み込む]を選択します。

編集中のデータに読み込むことはできません。

チェックを入れると横断面が自動で作成されます。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

④道路中心線形データの読み込みが開始されます。

⑤道路中心線形データの読み込み終了となります。

チェックを入れると読み込んだデータが開かれます。

1. [完了]ボタンをクリックします。

MC/MG 等の情報化施工用設計データ(LandXML)を出力する

- ①メニュー[ファイル]-[マシンコントロールデータ作成]をクリックします。
- ②[マシンコントロールデータ作成ウィザード]が表示されます。

マシンコントロール データ作成ウィザード

マシンコントロール データ作成
マシンコントロール(MC)で利用できる LandXML データ(XMLファイル)を作成します。

現場情報
工事名(N): A道路工事
備考(E):

線形名称
 線形1

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

1. 線形名称を選択します。

工事名の変更や備考を記入することも可能です。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

- ③保存先の選択を行います。

マシンコントロール データ作成ウィザード

保存先の選択
作成する LandXML ファイルの保存先を選びます

ファイル名(N): LandXml.xml
作成場所: C:\Users\User\Documents\工事データ\A道路工事

選択(S)...

< 戻る(B) 作成(O) キャンセル

1. 保存場所を確認します。

ファイル名の変更も可能です。

[選択]ボタンより保存場所を変更することも可能です。

2. [作成]ボタンをクリックします。

- ④マシンコントロールデータ作成終了となります。

マシンコントロール データ作成ウィザード

マシンコントロール データ作成ウィザード 終了

詳細:
LandXML データの作成に成功しました。

ウィザードを開いた後にデータの作成先を開く(O)
ウィザードを閉じるには、[完了]をクリックしてください。

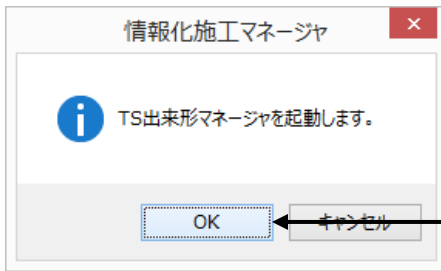
< 戻る(B) 作成(O) 完了(E)

チェックを入れると読み込んだデータが開かれます。

1. [完了]ボタンをクリックします。

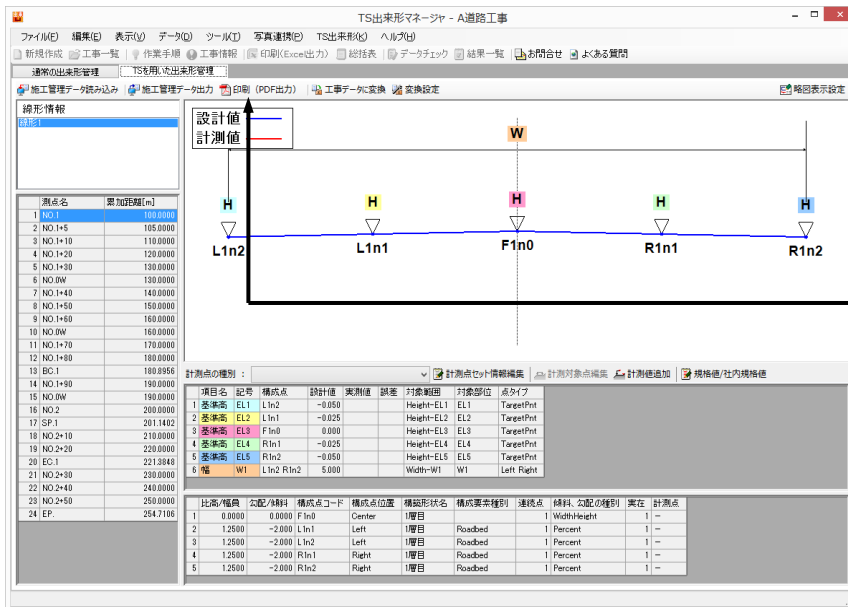
TS 出来形帳票を出力する

①メニュー[ファイル]-[出来形帳票印刷]をクリックします。



[OK]ボタンをクリックします。

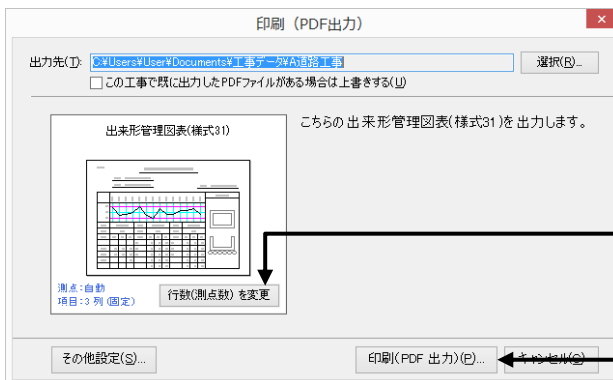
②TS 出来形マネージャが起動します。



横断情報の[管理箇所]タブで編集した管理項目、構成要素内容が表示されます。

[印刷(PDF 出力)]ボタンをクリックします。

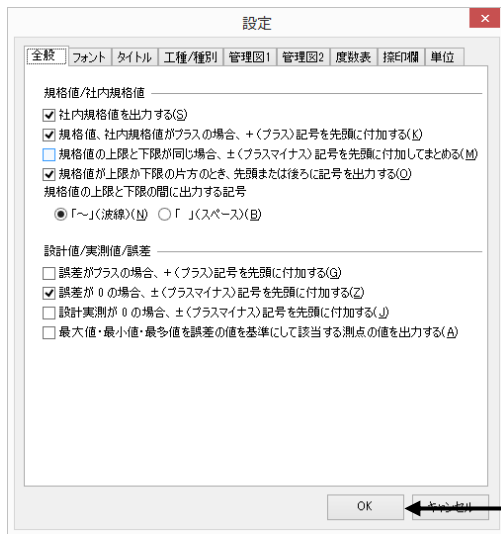
②[印刷(PDF 出力)]ダイアログが表示されます。



測点の行数変更が可能です。

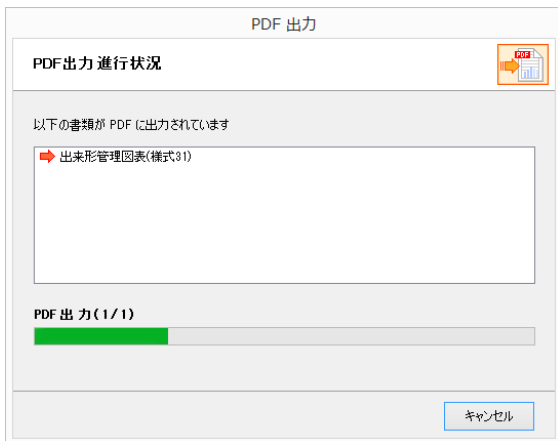
1. [印刷(PDF 出力)]ボタンをクリックします。

③[設定]ダイアログが表示されます。



設定を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

⑤PDF 出力が開始されます。



⑥PDS 出力終了となります。



チェックを入れると出力したファイルが開かれます。

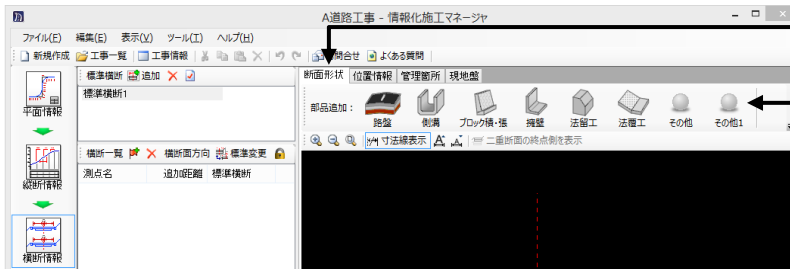
1. [完了]ボタンをクリックします。

10. 部品管理

分類を管理する

分類タブを追加する

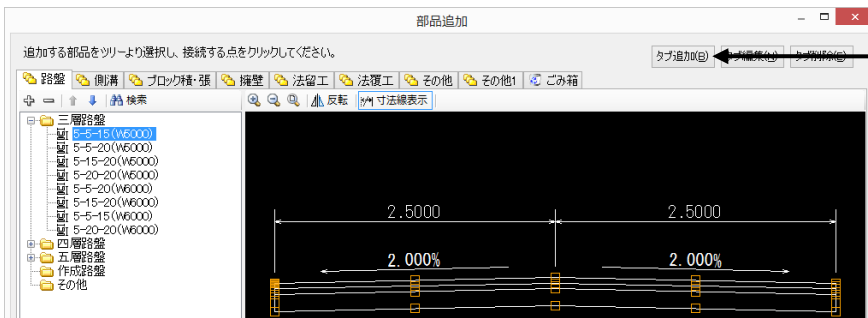
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



[タブ追加]ボタンをクリックします。

③[分類追加]ウィンドウが表示されます。

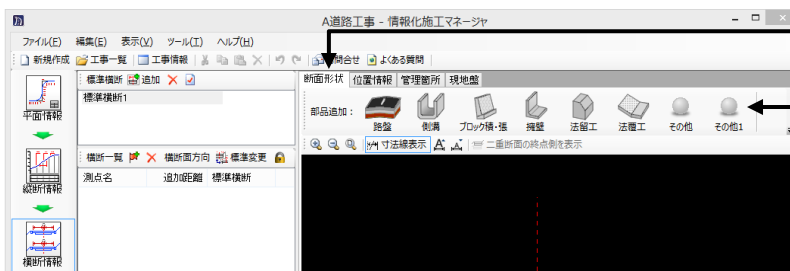


1. 名前を入力します。

2. [OK]ボタンをクリックします。

分類タブを編集する ※任意で追加した分類タブのみ編集可能です。

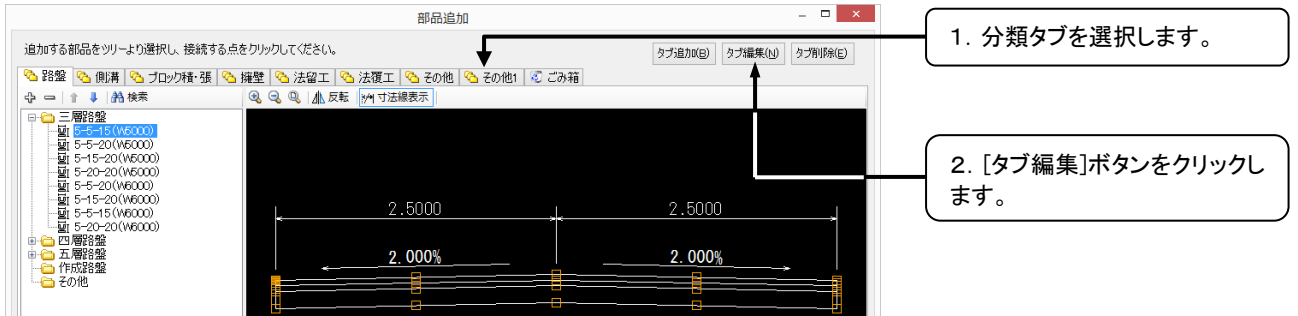
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

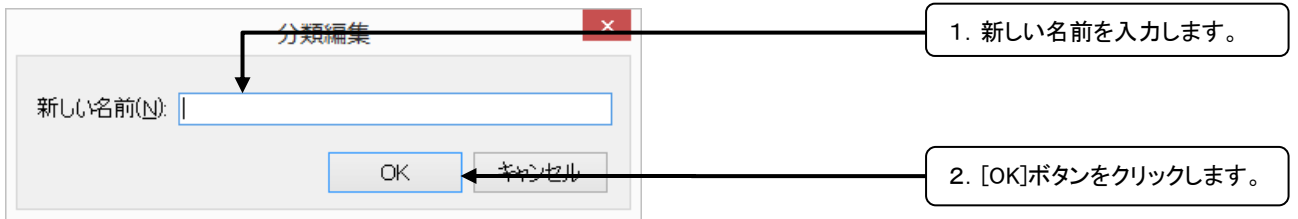
②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



1. 分類タブを選択します。

2. [タブ編集]ボタンをクリックします。

③[分類編集]ウィンドウが表示されます。

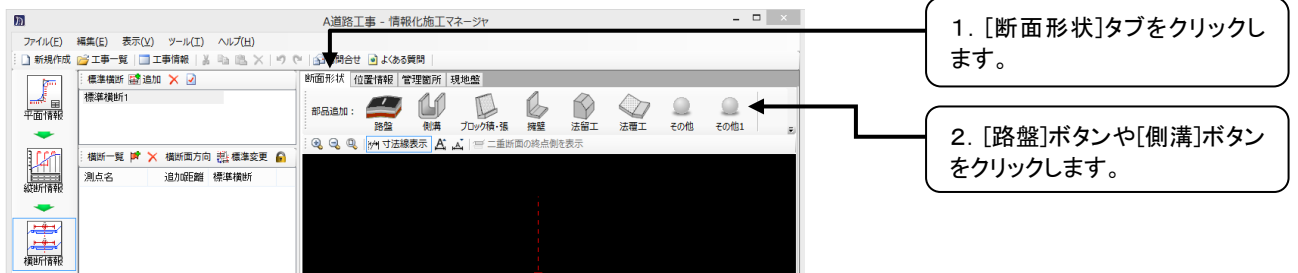


1. 新しい名前を入力します。

2. [OK]ボタンをクリックします。

分類タブを削除する ※任意で追加した分類タブのみ削除可能です。

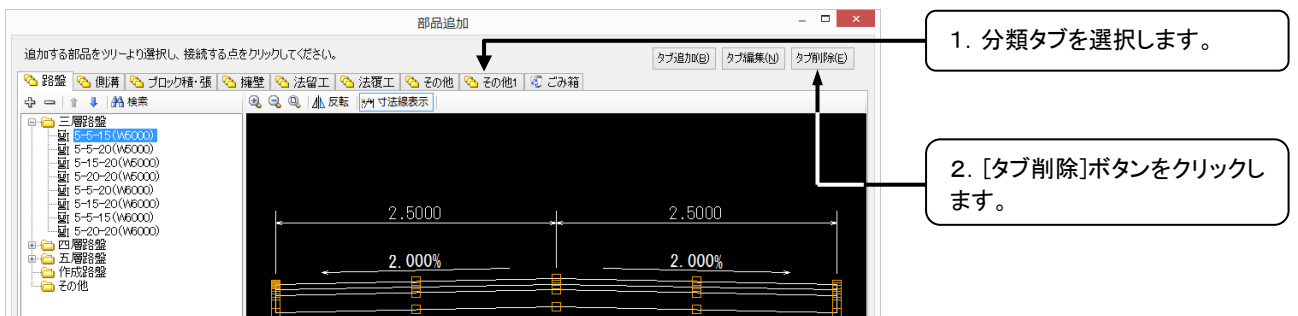
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



1. 分類タブを選択します。

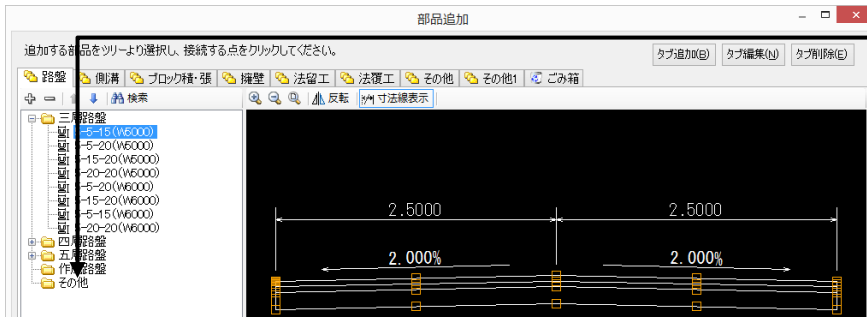
2. [タブ削除]ボタンをクリックします。

③確認のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



部品ツリー内で部品フォルダを右クリックし、[名前の変更]をクリックします。

③[名前の変更]ウィンドウが表示されます。

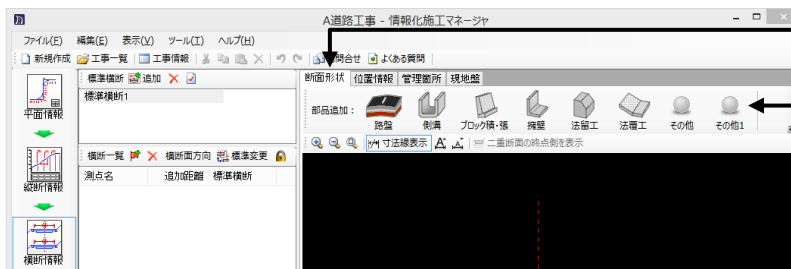


1. 新しい名前を入力します。

2. [OK]ボタンをクリックします。

部品フォルダを削除する ※任意で追加した部品フォルダのみ削除可能です。

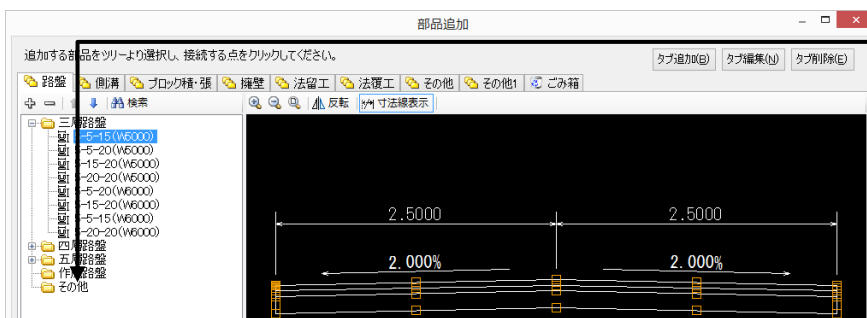
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

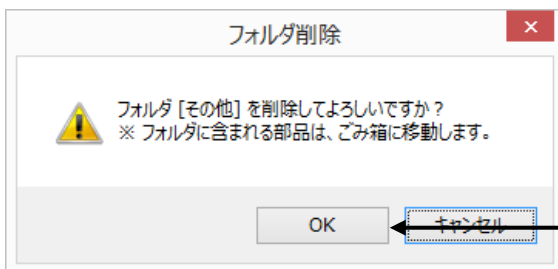
2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



部品ツリー内で部品フォルダを右クリックし、[部品フォルダ削除]をクリックします。

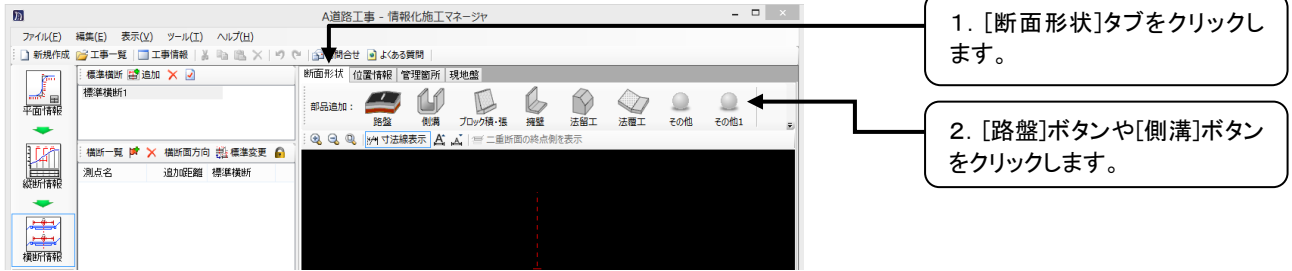
③確認のメッセージが表示されます。



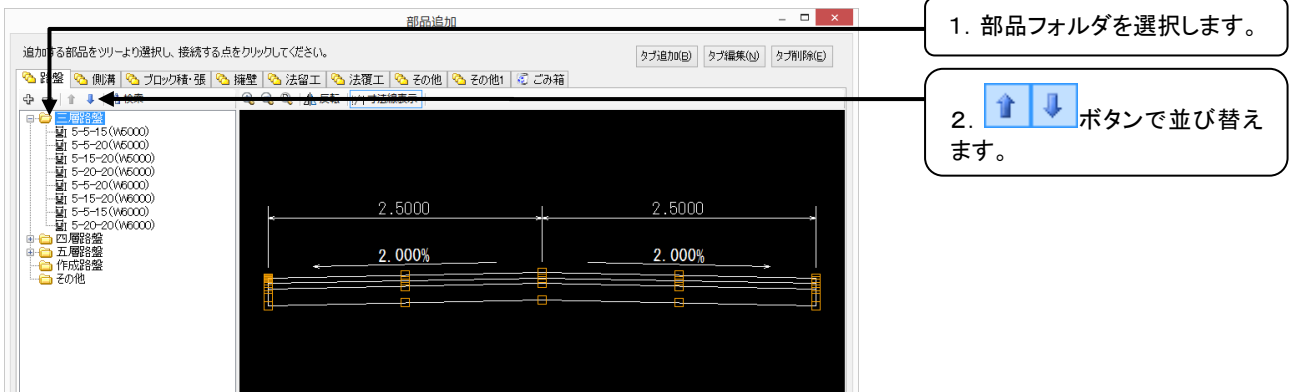
[OK]ボタンをクリックします。

部品フォルダを並び替える

①横断情報ウィンドウを表示します。



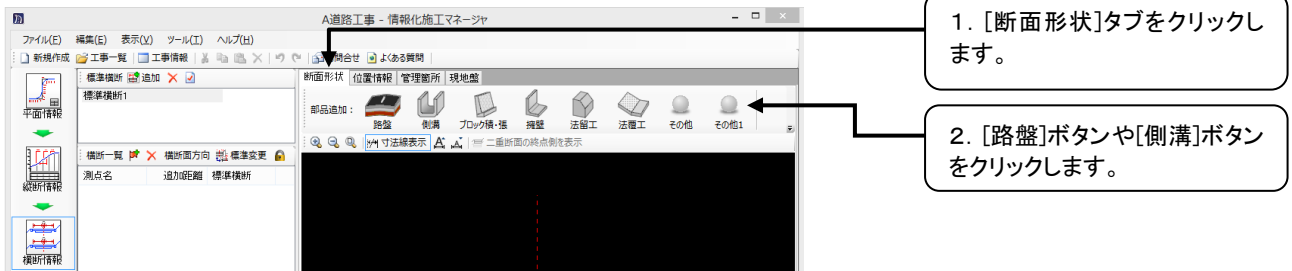
②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



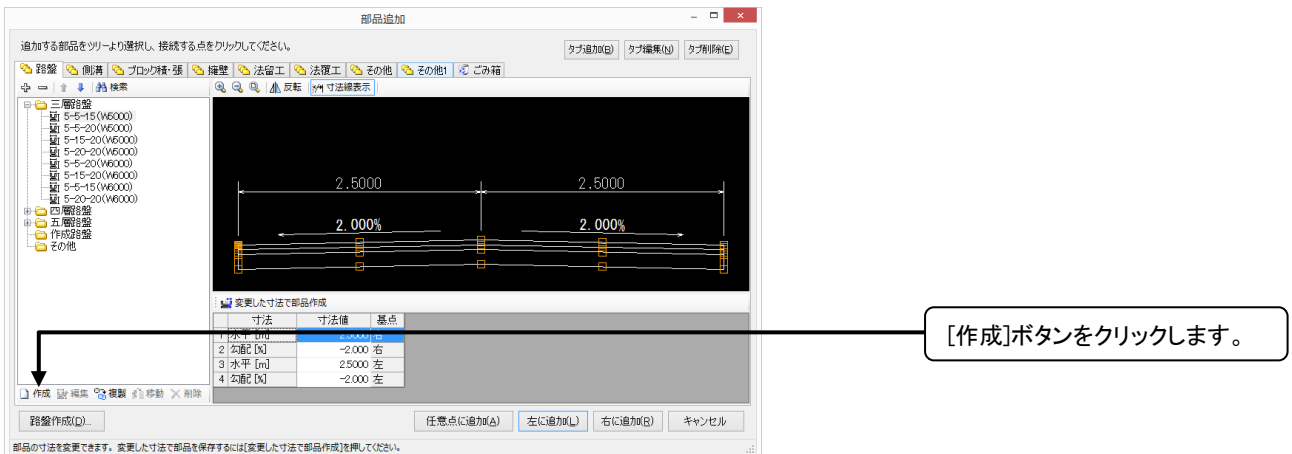
部品を管理する

部品を追加する

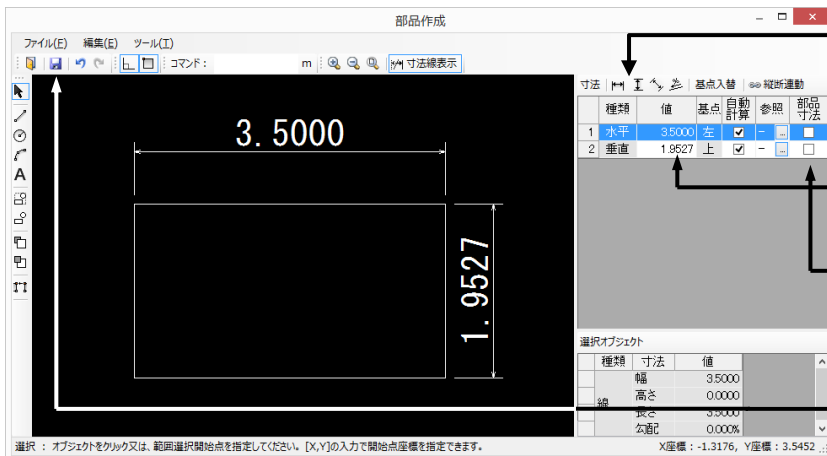
①横断情報ウィンドウを表示します。



②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



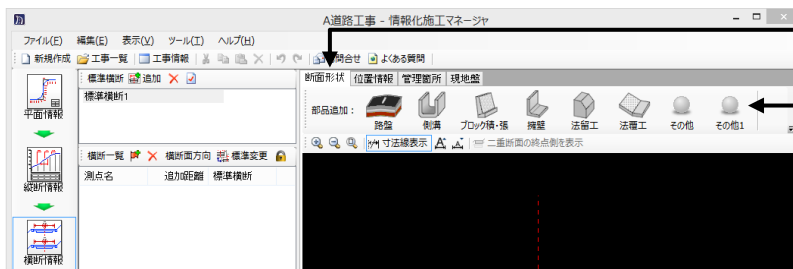
③[部品作成]ウィンドウが表示されます。(P55[11.部品作成/編集]を参考に部品の作成(作図)を行います。)



- 作成した部品に や で寸法線を表示できます。
- 値を変更すると、部品の寸法も変更されます。
- [部品寸法]にチェックをつけると、部品ツリー一覧内でも寸法値が確認できます。
- 作成が終わったら ボタン又は[ファイル]より名前を付けて保存します。

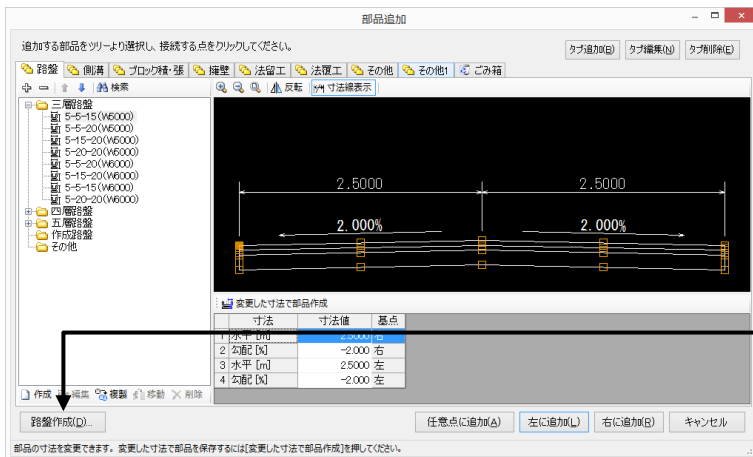
路盤部品を作成する

①横断情報ウィンドウを表示します。



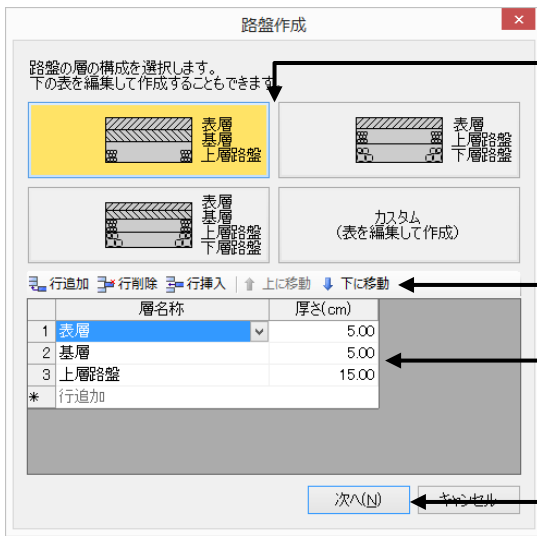
- [断面形状]タブをクリックします。
- [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



[路盤作成]ボタンをクリックします。

③[路盤作成]ウィンドウが表示されます。



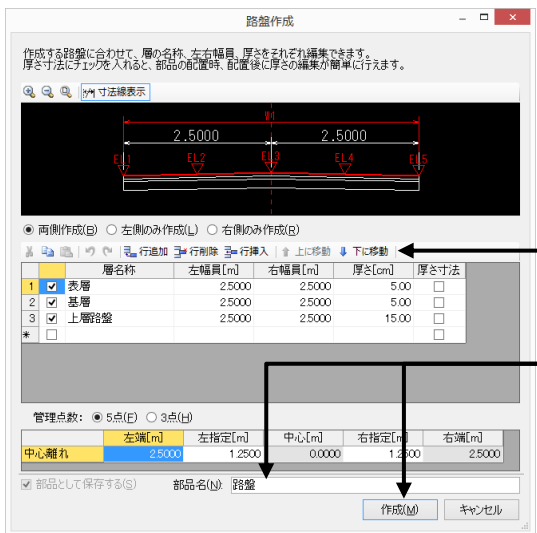
1. 路盤の層の構成を選択します。

行追加、行挿入や行削除、並び替えが行えます。

層名称、厚さの変更ができます。

2. [次へ(N)]ボタンをクリックします。

③[路盤作成]ウィンドウが表示されます。



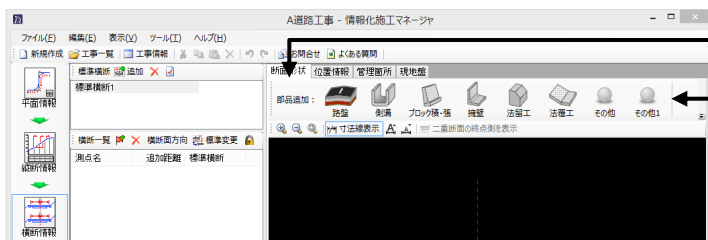
作成する路盤に合わせて、層名称、左右幅員、厚さをそれぞれ編集できます。

行追加、行挿入や行削除、並び替えが行えます。

編集が終わったら、部品名を入力し、[作成]ボタンをクリックします。

部品を編集する ※新規作成または複製した部品のみ編集可能です。

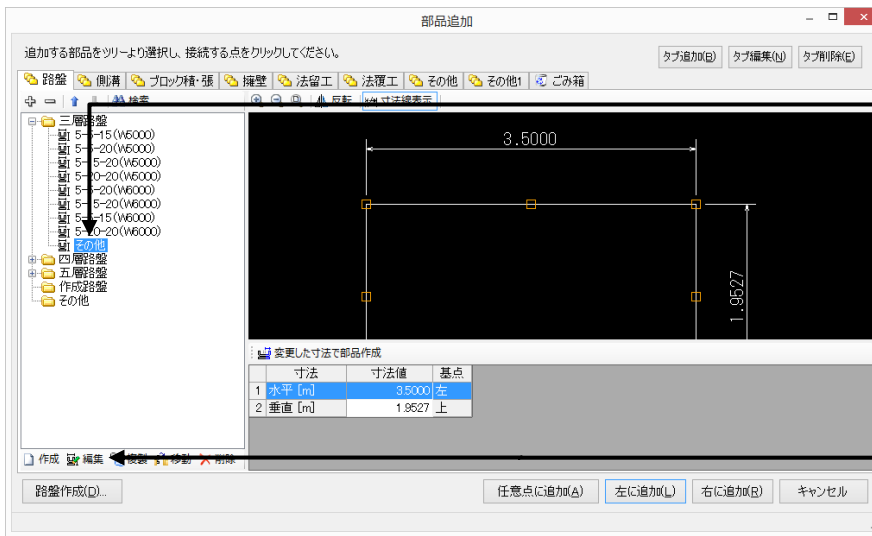
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

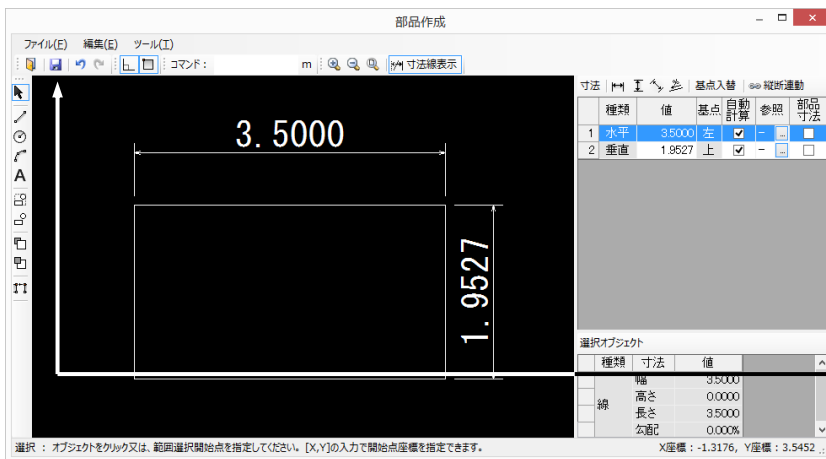
②[部品追加]ウィンドウが表示されます。




1. 部品を選択します。

2. [編集]ボタンをクリックします。

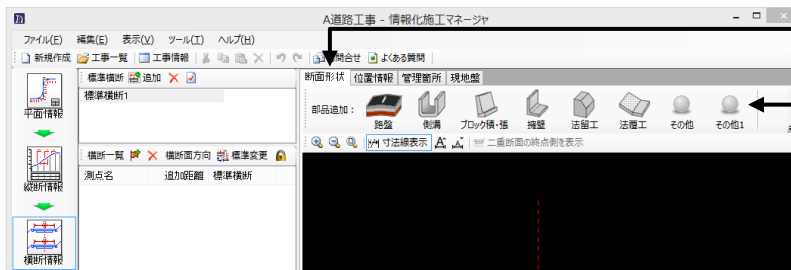
③[部品作成]ウィンドウが表示されます。



編集が終わったら  ボタン
又は[ファイル]より名前を付けて保存します。

部品の寸法を変更する

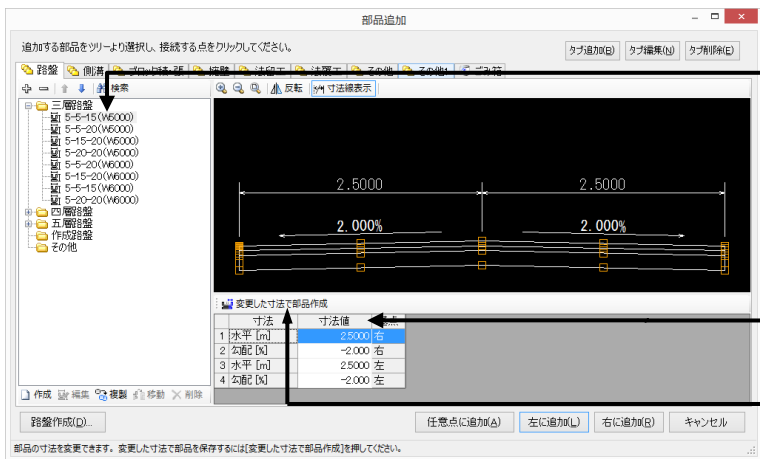
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



寸法	寸法値
1 水平 [m]	2500 右
2 勾配 [°]	-2.00 右
3 水平 [m]	2500 左
4 勾配 [°]	-2.00 左

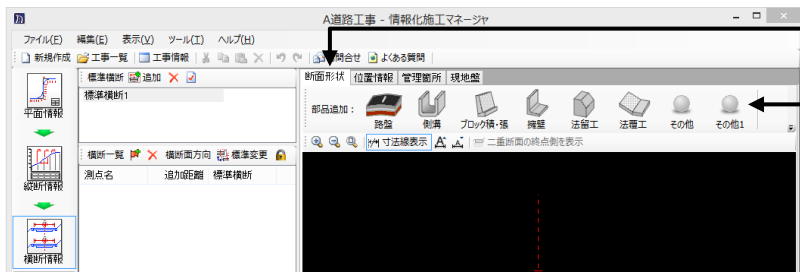
1. 部品を選択します。

2. 寸法値を変更します。

3. [変更した寸法で部品作成] ボタンをクリックします。

部品を複製する

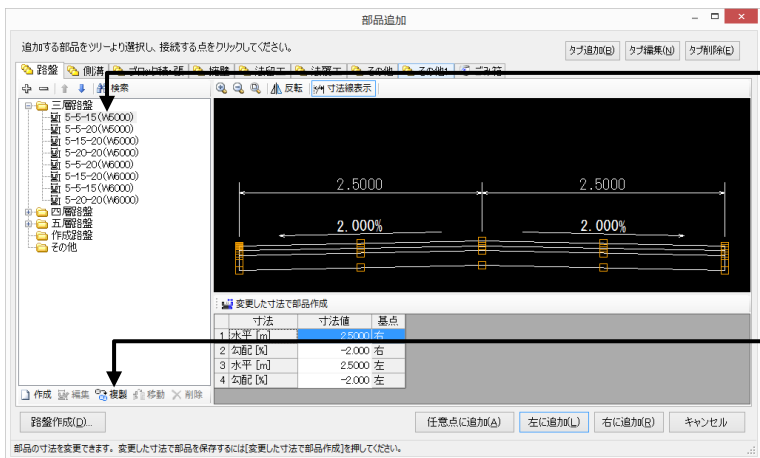
①横断情報ウィンドウを表示します。



1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。

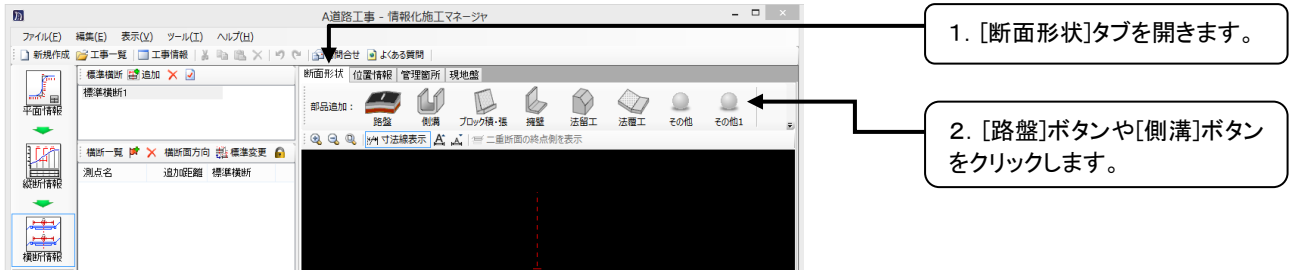


1. 部品を選択します。

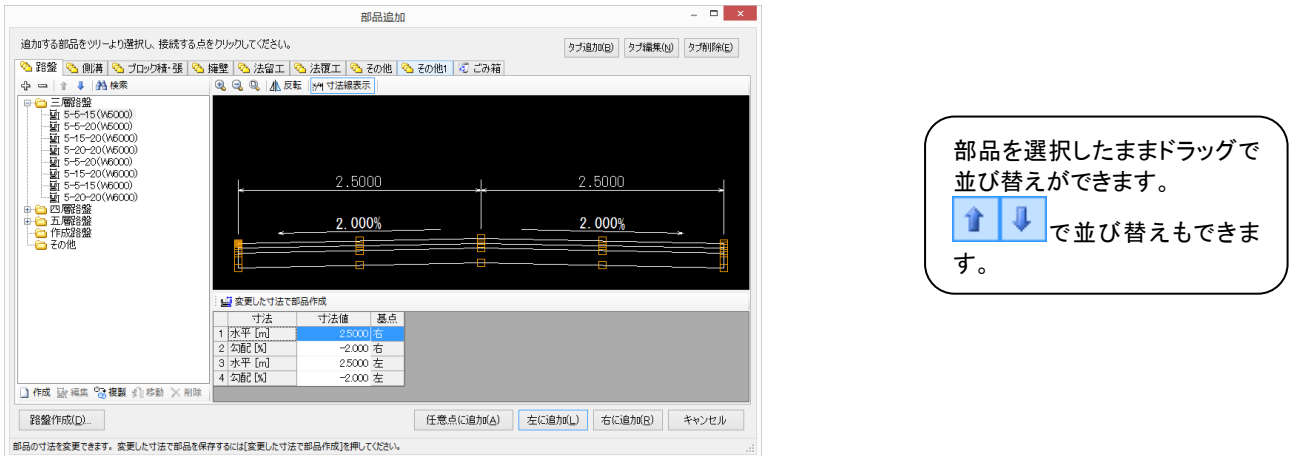
2. [複製]ボタンをクリックします。

部品を移動する

①横断情報ウィンドウを表示します。

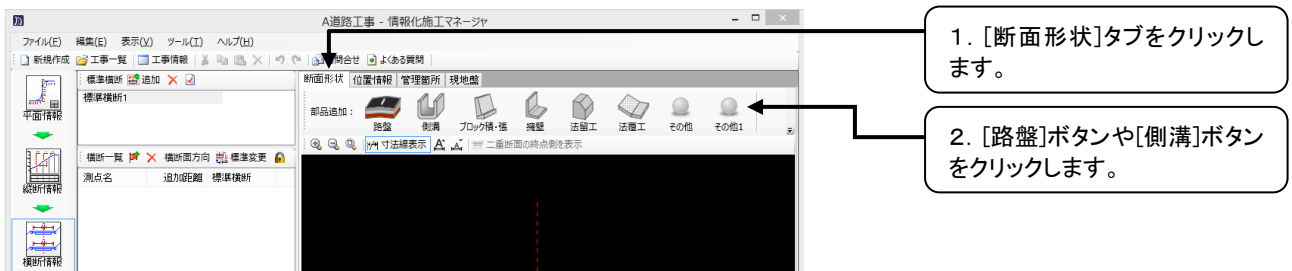


②[部品追加]ウィンドウが表示されます。



部品を削除する ※新規作成または複製した部品のみ削除可能です。

①横断情報ウィンドウを表示します。



②[部品追加]ウィンドウが表示されます。

追加する部品をツリーより選択し、接続する点をクリックしてください。

タブ追加(+) タブ編集(M) タブ削除(D)

路盤 側溝 ブロック積張 擁壁 法留工 法覆工 その他 その他1 ごみ箱

三層路盤
5-5-15 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-15 (W6000)
5-5-20 (W6000)
部品追加
四層路盤
五層路盤
作成路盤
その他

3.5000
1.9527

寸法	寸法値	基点
1 水平 [m]	3.5000	左
2 垂直 [m]	1.9527	上

作成 編集 複製 移動 削除

路盤作成(D)... 任意点(追加(A)) 左に追加(L) 右に追加(R) キャンセル

1. 部品を選択します。

2. [削除]ボタンをクリックします。

③確認のメッセージが表示されます。

部品削除

[その他]をごみ箱タブに移動します。

OK キャンセル

[OK]ボタンをクリックします。

部品名を変更する ※新規作成または複製した部品のみ変更可能です。

①横断情報ウィンドウを表示します。

A道路工事 - 情報化施工マネージャ

断面形状 位置情報 管理箇所 現地盤

部品追加: 路盤 側溝 ブロック積張 擁壁 法留工 法覆工 その他 その他1

1. [断面形状]タブをクリックします。

2. [路盤]ボタンや[側溝]ボタンをクリックします。

②[部品追加]ウィンドウが表示されます。

追加する部品をツリーより選択し、接続する点をクリックしてください。

タブ追加(+) タブ編集(M) タブ削除(D)

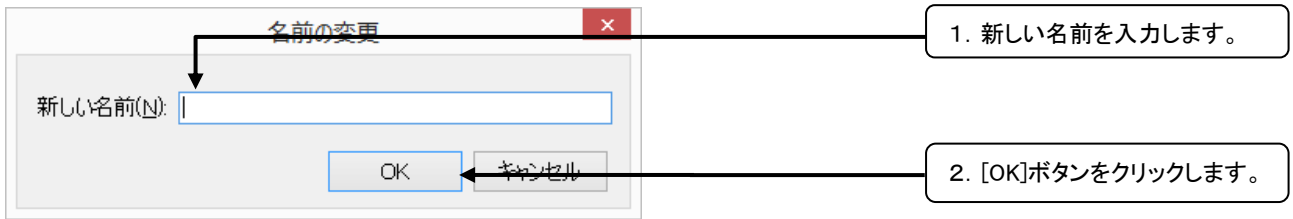
路盤 側溝 ブロック積張 擁壁 法留工 法覆工 その他 その他1 ごみ箱

三層路盤
5-5-15 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-20 (W6000)
5-5-15 (W6000)
5-5-20 (W6000)
部品追加
四層路盤
五層路盤
作成路盤
その他

3.5000
1.9527

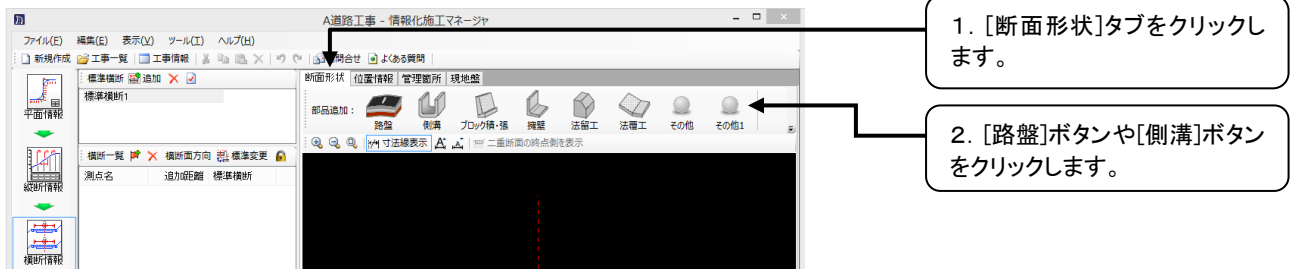
1. 部品を右クリックし、[名前の変更]をクリックします。

③[名前の変更]ウィンドウが表示されます。

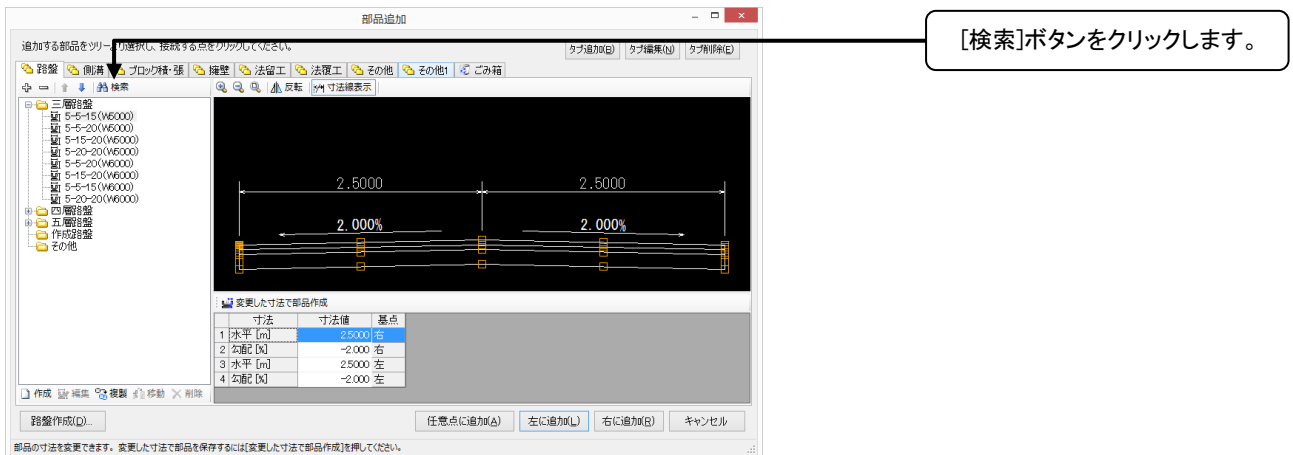


部品を検索する

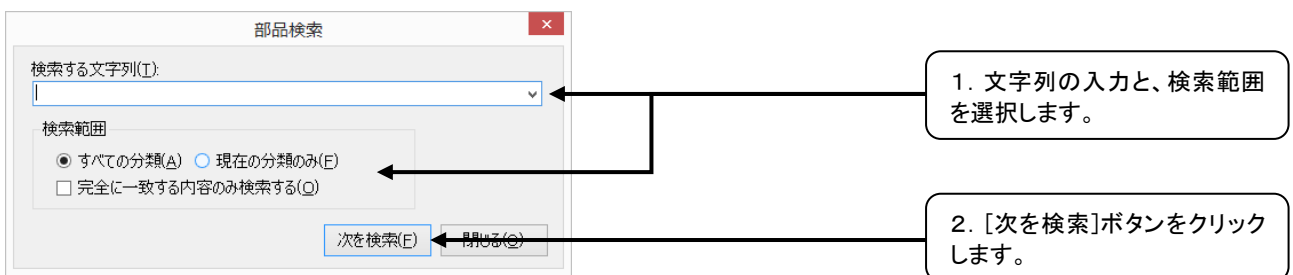
①横断情報ウィンドウを表示します。



②[部品追加]ウィンドウが表示されます。




②[部品検索]ウィンドウが表示されます。

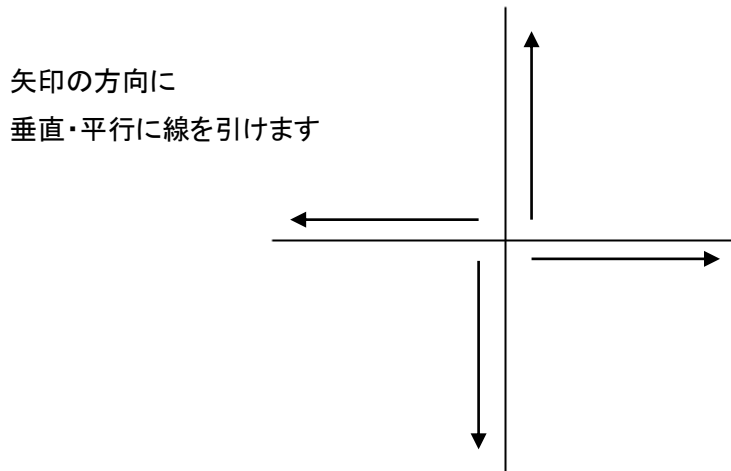


11. 部品作成/編集

オブジェクトの作成

直交モード

メニューの  ボタンをクリックすることで、カーソルの移動を水平方向または垂直方向に制限でき、簡単かつ、正確なオブジェクトの作成・修正ができます。



オブジェクトスナップ

オブジェクトスナップを使用することで、スナップの場所(図形の中心や端点)にカーソルを合わせることができます。

・オブジェクトスナップを使用する

① メニューの  ボタンをクリックします。

・オブジェクトスナップの設定

①  ボタンを右クリックし、「設定(S)」をクリックします。

② スナップの設定ダイアログが表示されます。

① [スナップオン]チェックボックスにチェックをつけます。

② [スナップ対象]チェックボックスにチェックをつけます。

・端点 線分、連続線、四角形の端点に座標補正します。

・中点 線分、連続線、四角形の中点に座標補正します。

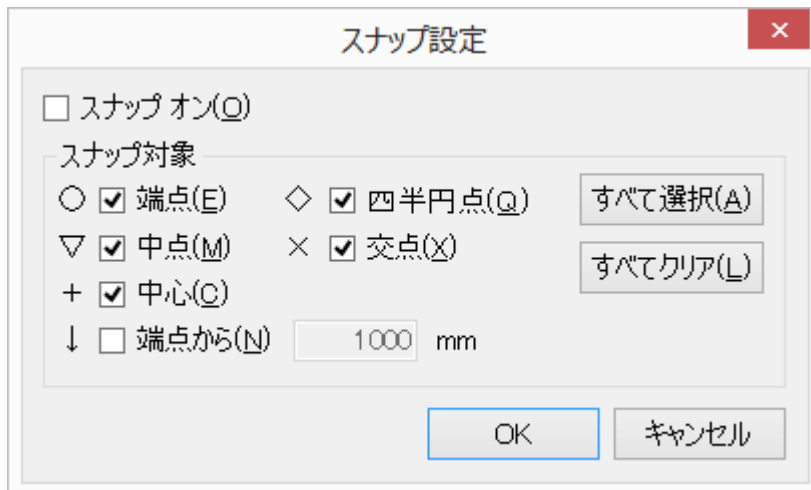
・中心 円、円弧の中心店に座標補正します。

・四半円点 円、円弧の四半円点に座標補正します。

・交点 オブジェクトの交点に座標補正します。


・端点から 端点からの距離を座標補正します。

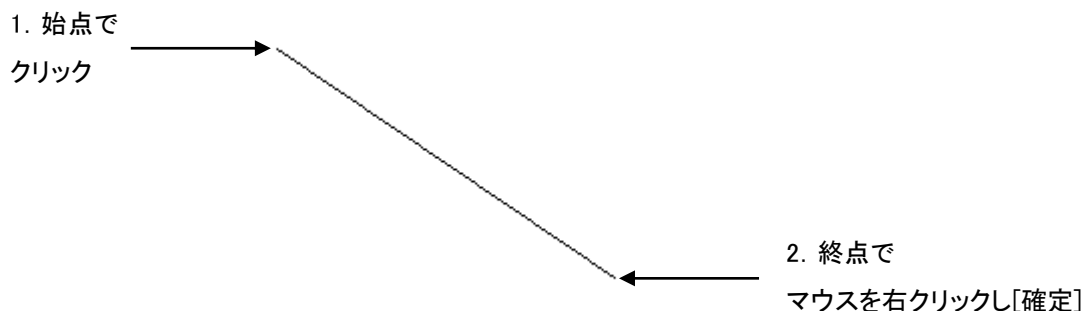
③ 設定が終わったら[OK]をクリックします。




線の作成

・単一線の作成

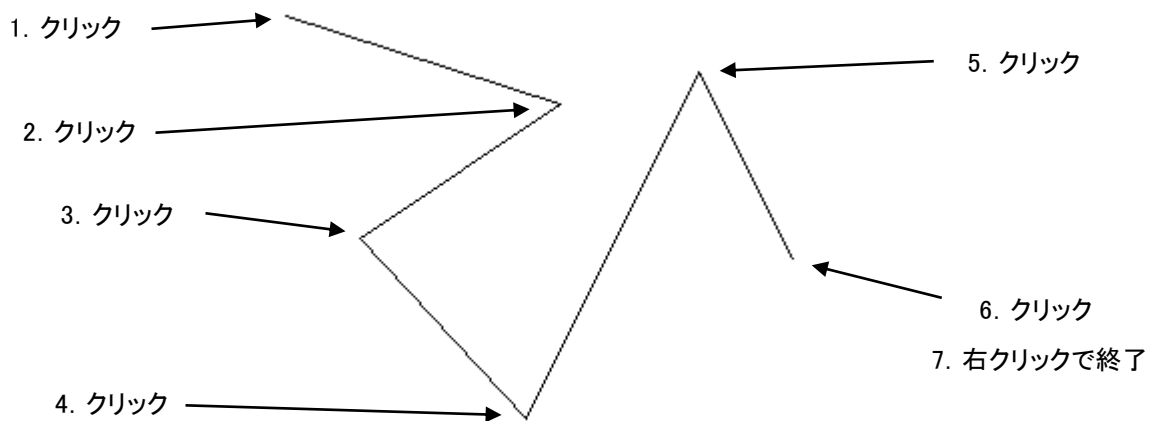
- ①メニューの  ボタンをクリックします。
- ②①始点を決め、マウスをクリックします。
- ③マウスを移動してください。移動する方向に線が描画されます。
- ④終点を決めたら、マウスを右クリックし、[確定]を選択します。



・連続線の作成


- ①メニューの  ボタンをクリックします。
- ②①始点を決め、マウスをクリックします。
- ③マウスを描画する方向に移動して、終点を決めたらマウスをクリックします。
- ④必要に応じてマウスを移動して、終点をクリックして指定します。

④描画を終了するときは、マウスを右クリックし、[確定]を選択します。



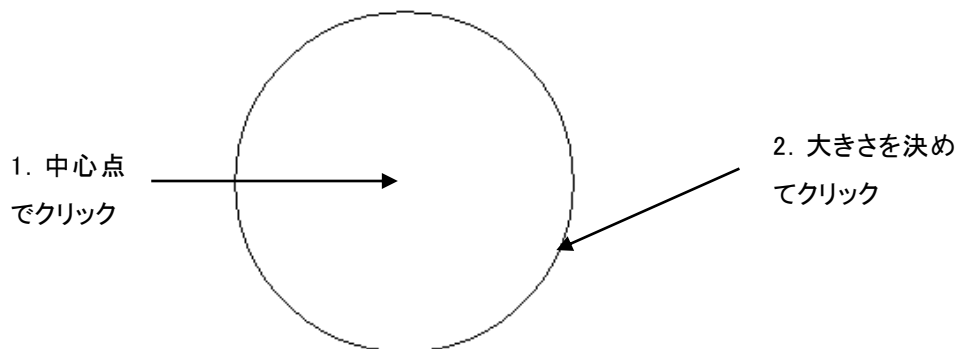
■実行中に線を取り消すには、マウスを右クリックし、表示される[キャンセル]をクリックします。また、描画した線を取り消すには[編集]メニューから[元に戻す]を選択します。

円の作成

①メニューの  ボタンをクリックします。

②①中心を決め、マウスをクリックします。


③マウスを移動させて、大きさを設定します。大きさが設定できたら、マウスをクリックします。



■実行中の円を取り消すには、マウスを右クリックし、表示される[キャンセル]をクリックします。また、描画した円を取り消すには[編集]メニューから「元に戻す」を選択します。

円弧の作成

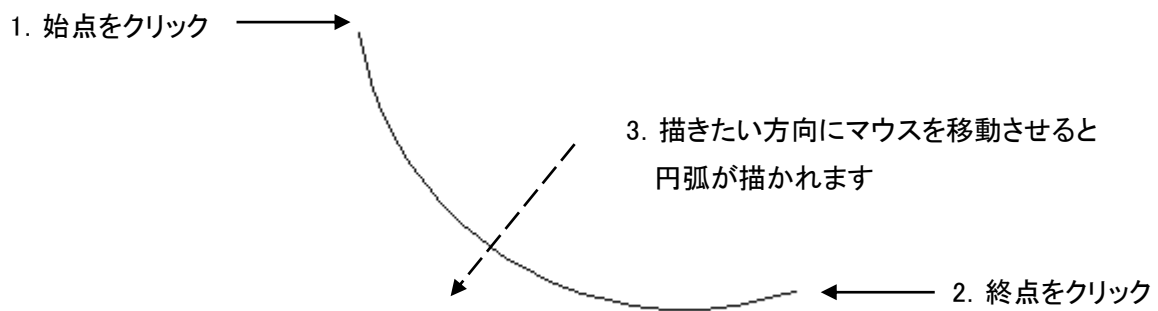
半円や扇形を描画したいときは、[円弧]コマンドを使用します。

①メニューの  ボタンをクリックします。

②①始点を決め、マウスをクリックします。

③マウスを移動させて終点を決め、クリックします。

③マウスを移動させると円弧が描かれます。



■実行中の円弧を取り消すには、マウスを右クリックし、表示される[キャンセル]をクリックします。また、描画した円弧を取り消すには[編集]メニューから「元に戻す」を選択します。

文字の作成

- ①メニューの **A** ボタンをクリックします。
- ②①図のように入力した文字列の左上を始点としてクリックします。
- ③図のような入力画面が表示されるので、「描画する文字」に文字列を入力して「OK」をクリックします。

文字描画設定 ✕

描画する文字(I)

あいうえお

AaBbCcDdEeFfGg

フォント名(E) スタイル(Q) 文字範囲高(H)

MS ゴシック 標準 400.0

基点位置(P) 基点X座標(X) 基点Y座標(Y) 回転角(R)


左上 2739.4563 2644.6654 0

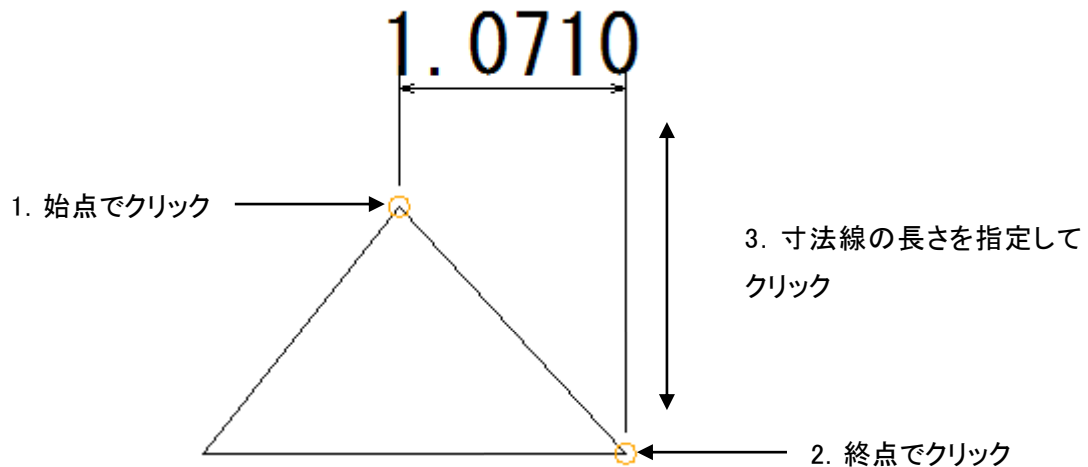
OK キャンセル

④文字が配置されます。


寸法の作成

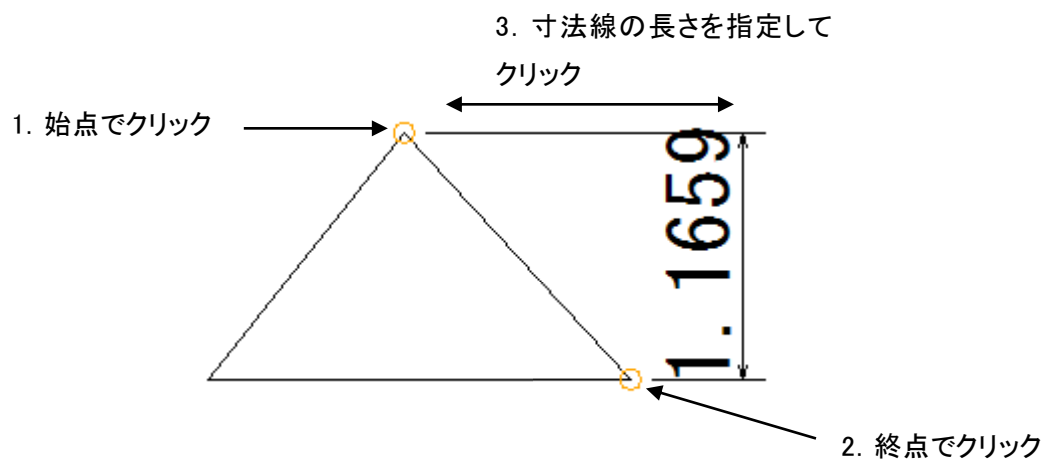
・水平寸法の作成

- ①メニューの  ボタンをクリックします。
- ②オブジェクト上で、マウスをクリックして始点を決め、終点を決めたらマウスをクリックします。
- ③マウスを移動し、寸法線の長さを指定してクリックします。




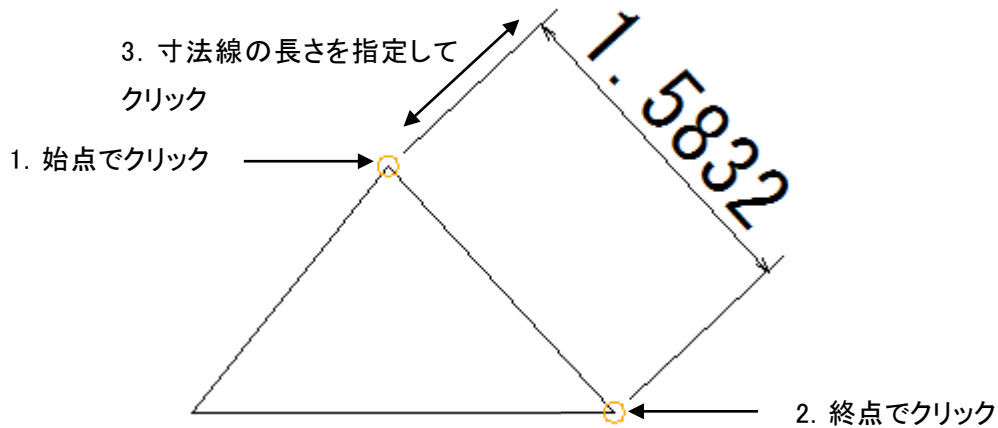
・垂直寸法の作成

- ①メニューの  ボタンをクリックします。
- ②オブジェクト上でマウスをクリックして始点を決め、終点を決めたらマウスをクリックします。
- ③マウスを移動し、寸法線の大きさを設定してマウスをクリックします。




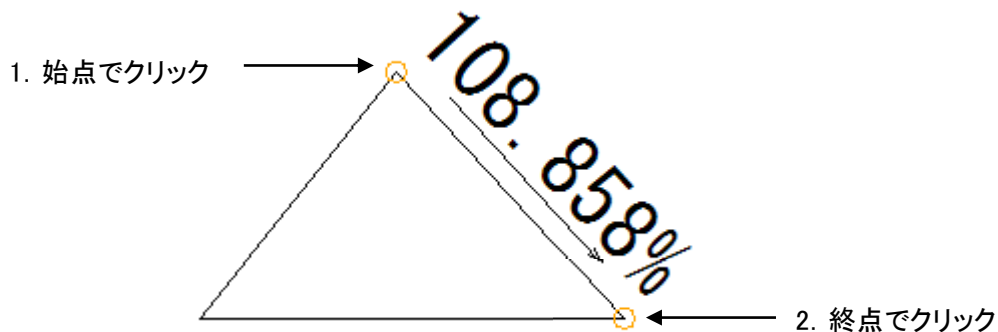
・長さ寸法の作成

- ①メニューの  のボタンをクリックします。
- ②オブジェクト上で、マウスをクリックして始点を決め、終点を決めたらマウスをクリックします。
- ③マウスを移動し、寸法線の大きさを設定してマウスをクリックします。



・勾配寸法の作成

- ①メニューの  ボタンをクリックします。
- ②オブジェクト上で、マウスをクリックして始点を決め、終点を決めたらマウスをクリックすると、勾配寸法が表示されます。





コマンド入力

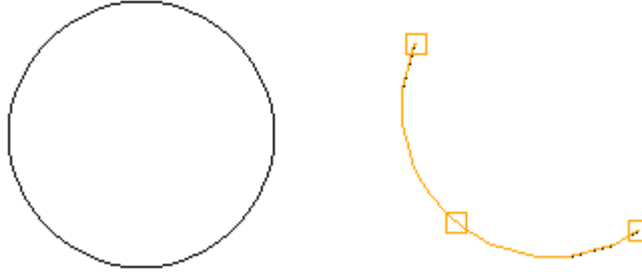
メニューの **コマンド:** へ長さを入力すると、指定した長さでオブジェクトが作成できます。

- ①あらかじめ作成したいオブジェクトのボタンを選び、方向を決めます。
- ②方向を決めたらキーボードの数字キーを使用し、長さを記入します。
※この時、コマンド入力箇所にカーソルの点滅はありません。
- ③長さを記入し、Enter キーで確定すると、指定した長さでオブジェクトが作成されます。

オブジェクトの選択

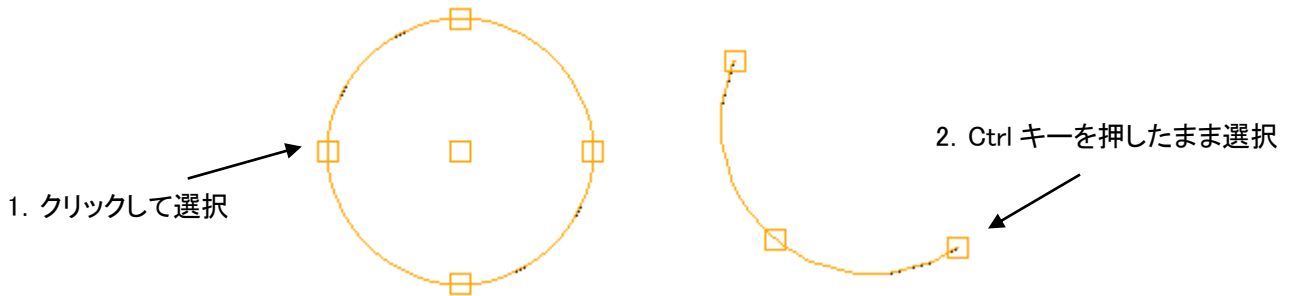
①メニューの  ボタンをクリックします。

②選択したいオブジェクトの線上(文字の場合は文字列)をクリックします。オブジェクトが選択され、 図





のように「□」が表示されます。


■複数のオブジェクトを選択する場合は以下の2通りがあります。

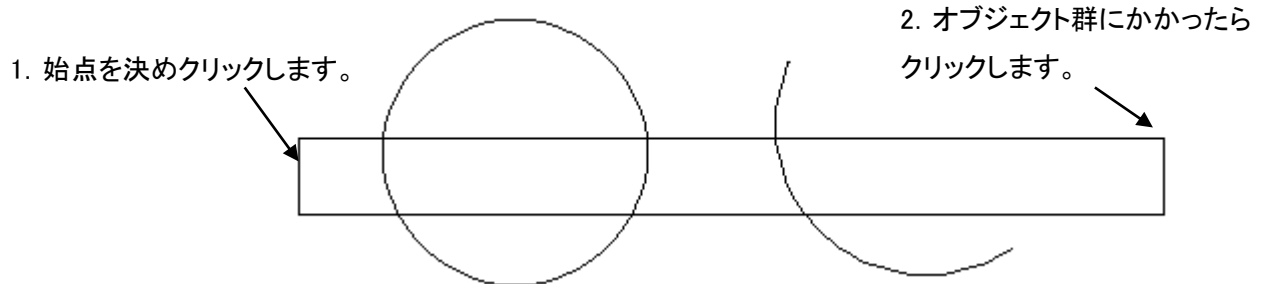


・[Ctrl]キーを押しながら、オブジェクトを選択していくと複数選択することができます。

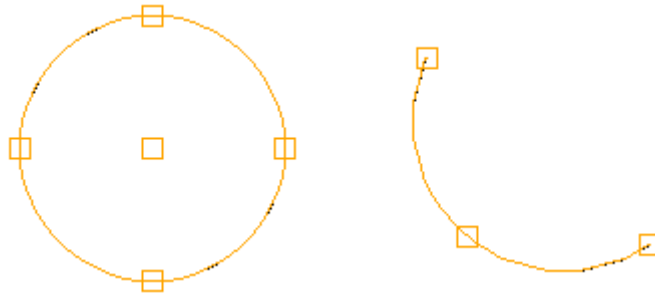
①  をクリックします。

②  始点を決め、マウスをクリックします。

③  マウスを移動させると実線が表示されます。選択するオブジェクト群にかかるようにマウスを移動させます。



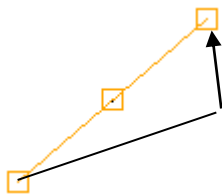
- ③ 選択するオブジェクト群に実線がかかったらクリックします。
- ③ オブジェクト群が選択され、図のように「□」が表示されます。



オブジェクトの編集

線の編集

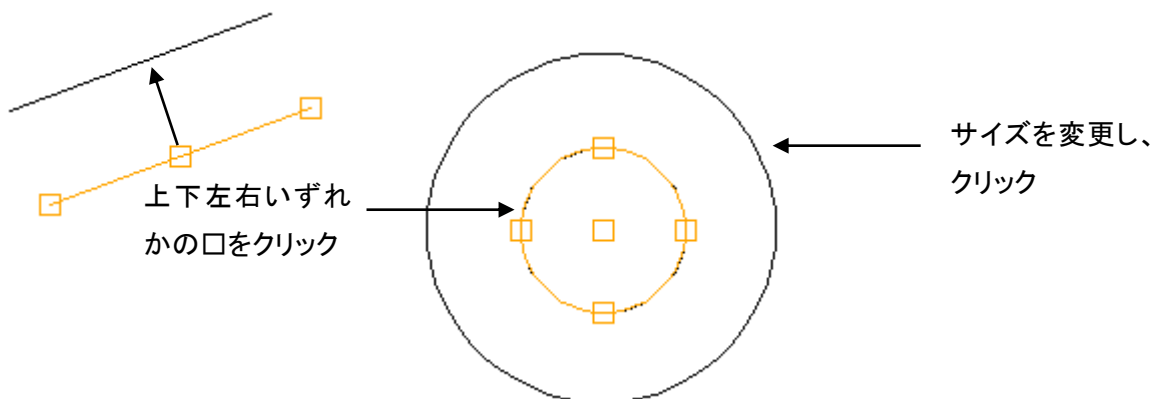
- ① 描画した線を選択すると、両端と真ん中に「□」が表示されます。選択の方法は「オブジェクトの選択」を参照してください。
- ② 両端のいずれかの「□」にマウスを合わせクリック、移動先でクリックすると大きさや座標を変更できます。



- ② 真ん中の「□」にマウスを合わせてクリックし、移動先でクリックします。大きさを変えないで移動できます。

円の編集

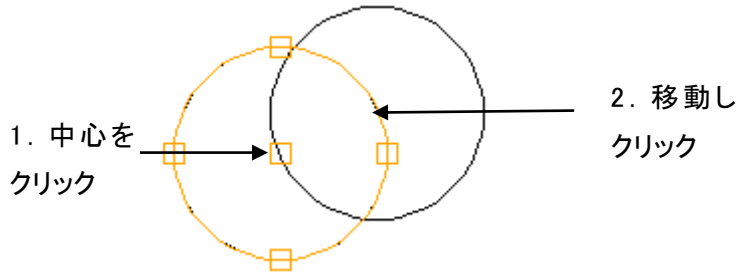
- ① 描画した円を選択すると、上下左右と中心に「□」が表示されます。選択の方法は「オブジェクトの選択」を参照してください。
- ② 上下左右いずれかの「□」にマウスを合わせてクリックし、移動すると大きさや座標を変更することができます。



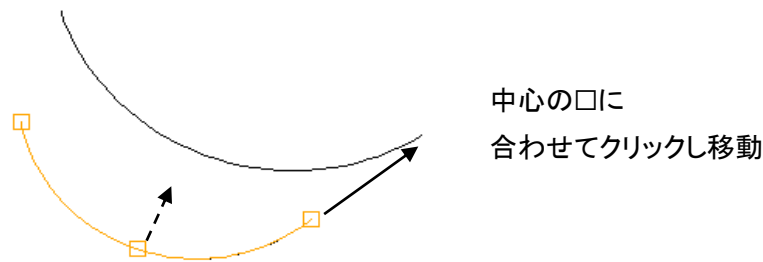
- ② 中心の「□」にマウスを合わせてクリックし、移動すると大きさを変えずに移動させることができます。

円弧の編集

- ① ①描画した円弧を選択すると、円弧の両端と真ん中に「□」が表示されます。選択の方法は「オブジェクトの選択」を参照してください。
- ② 円弧の両端のいずれかの「□」にマウスを合わせてクリックし、移動すると円弧の長さを変更することができます。

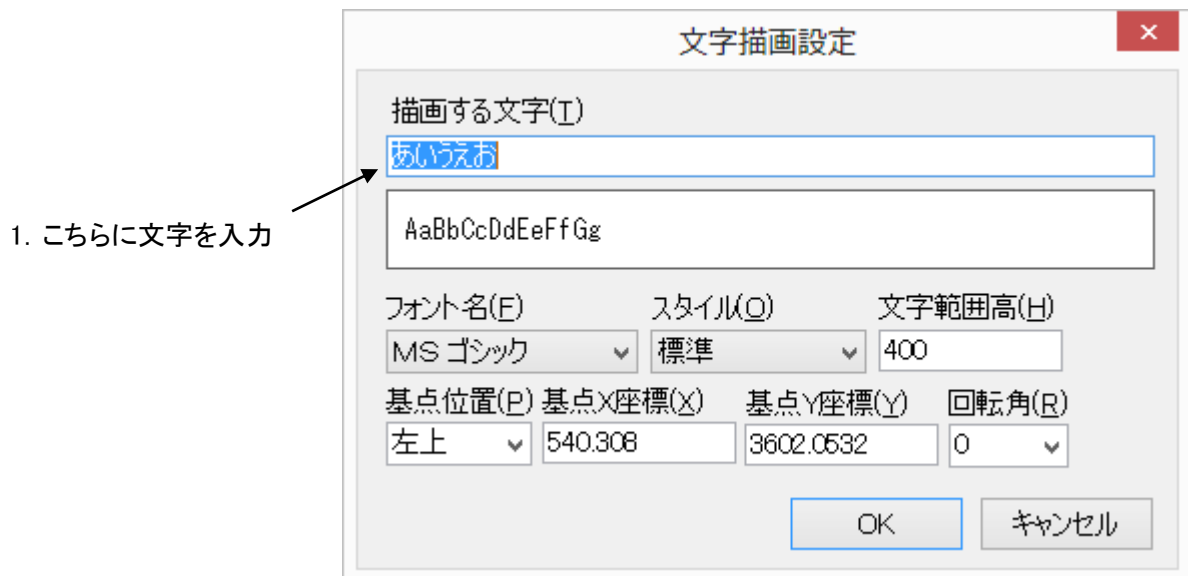


- ② 円弧の中心の「□」にマウスを合わせてクリックし、移動するとサイズが変更されます。



文字の編集

- ① ①文字を選択します。選択の方法は「オブジェクトの選択」を参照してください。
- ② 選択した文字の上でダブルクリックするとプロパティ画面が表示されます。
- ② 「描画する文字」で変更します。変更したら OK をクリックします。



寸法の編集

・数値編集

下記の画面の[値]から寸法を変更することができます。

こちらに変更したい寸法を入力する

寸法	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	左	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
2	勾配	50.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
3	長さ	1.0000	上	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>

・基点入替

寸法の終点と基点を入れ替えます。

- ①入れ替えたい基点をクリックします。
- ②[基点入替]をクリックします。

1. 入れ替えたい基点をクリック

2. こちらの[基点入替]をクリック

寸法	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	左	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
2	勾配	50.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
3	長さ	1.0000	上	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>

- ③ダイアログが表示され[OK]をクリックすると基点が入れ替わります。




・自動計算


自動罫線のチェックが入っていると、数値編集の値で入力した数値でオブジェクトの長さも変わります。このチェックが入っていないと寸法値が変わるだけで、オブジェクトの長さは変わりません。


寸法	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	右	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
2	勾配	50.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>
3	長さ	1.0000	上	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>

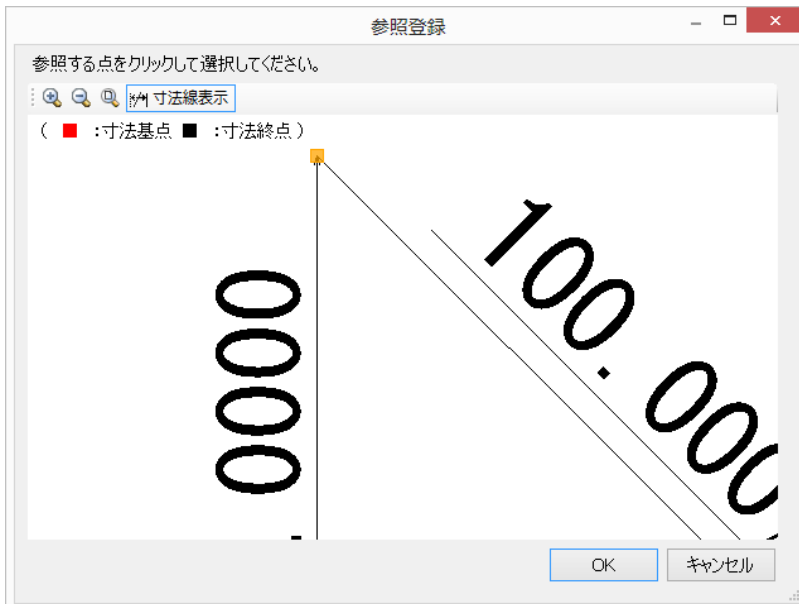
参照設定

寸法線を変更したときに、ほかの点も一緒に移動させる機能です。








①参照列にある  ボタンをクリックします。

寸法    基点入替  縦断連動						
	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	左	<input checked="" type="checkbox"/>	- 	<input type="checkbox"/>
2	勾配	100.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	- 	<input type="checkbox"/>
3	長さ	2.0000	下	<input checked="" type="checkbox"/>	- 	<input type="checkbox"/>

②表示された画面で基点としたい点の をクリックします。 が塗りつぶされたら  をクリックします。



③参照列の[-]が[○]に変わります。

寸法    基点入替  縦断連動						
	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	左	<input checked="" type="checkbox"/>	○ 	<input type="checkbox"/>
2	勾配	100.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	- 	<input type="checkbox"/>
3	長さ	2.0000	下	<input checked="" type="checkbox"/>	- 	<input type="checkbox"/>

・部品寸法

部品追加の画面に寸法を表示させることができます。

①部品寸法のチェックボックスにチェックを入れ、部品を保存し[部品作成]画面を閉じます。保存の仕方は[部品として保存]を参照してください。

寸法 基点入替 縦断連動						
	種類	値	基点	自動計算	参照	部品寸法
1	水平	2.0000	左	<input checked="" type="checkbox"/>	...	<input checked="" type="checkbox"/>
2	勾配	100.000%	左	<input checked="" type="checkbox"/>	- ...	<input type="checkbox"/>
3	長さ	2.0000	下	<input checked="" type="checkbox"/>	- ...	<input type="checkbox"/>

②チェックを入れていただいた寸法が[部品追加]画面に表示されます。

変更した寸法で部品作成

	寸法	寸法値	基点
1	水平 [m]	2.0000	左

・縦断連動

道路の作成等をする際に勾配や拡幅を予め設定できる機能です。

① 縦断連動 ボタンを押すと[縦断連動設定]ダイアログが表示されます。

横断連動の列で拡幅や勾配を設定することができます。

縦断連動設定 ×

縦断情報の 左右勾配 / 拡幅との連動を設定します。

	種類	値	基点	縦断連動
1	水平 []	2.5000	右	拡幅左
2	勾配 []	-2.000	右	勾配左
3	水平 []	2.5000	左	拡幅右
4	勾配 []	-2.000	左	勾配右


この部品を路盤とする(R)

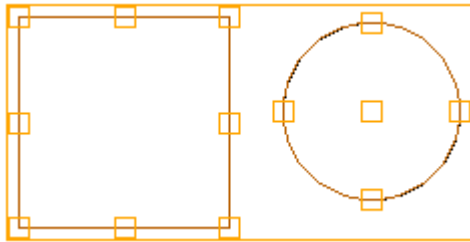
その他オブジェクト操作

オブジェクトのグループ化/グループ化解除


・オブジェクトのグループ化

複数のオブジェクトを1つのオブジェクトとして設定することができます。



- ①グループ化したい複数のオブジェクトを選択状態にし、メニューの[編集]-[グループ化]またはをクリックします。
- ②選択しているオブジェクト群がグループ化されます。






・グループ化解除

- ①解除するグループ化したオブジェクトを選択します。
- ②メニューの[編集]-[グループ解除]またはをクリックします。
- ③グループ解除されます。

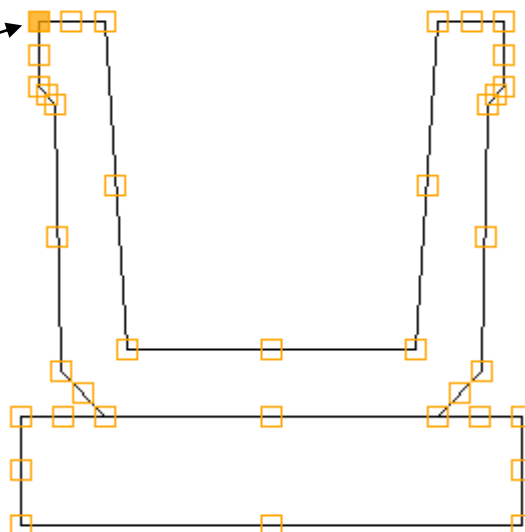
オブジェクトの前面/背面移動

メニューので前面に、で背面にオブジェクトを移動することができます。

部品接続点の設定

メニューのを押すとオブジェクトの接続点が表示され、他の部品に接続する点の設定ができます。オブジェクトがで囲まれたら接続点となる点をクリックします。が塗りつぶされると設定されています。


この状態になったら
設定完了です。

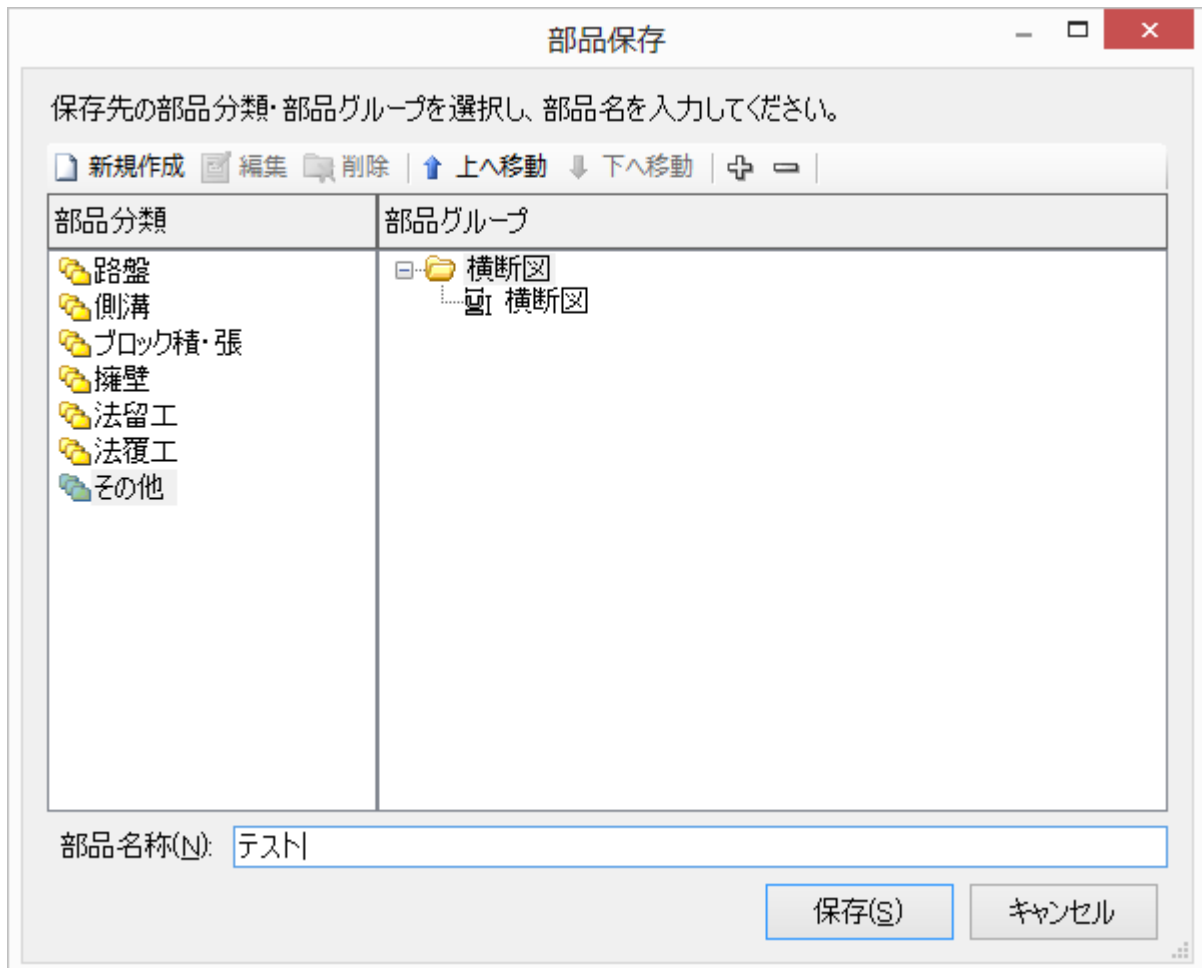


元に戻す/やり直し

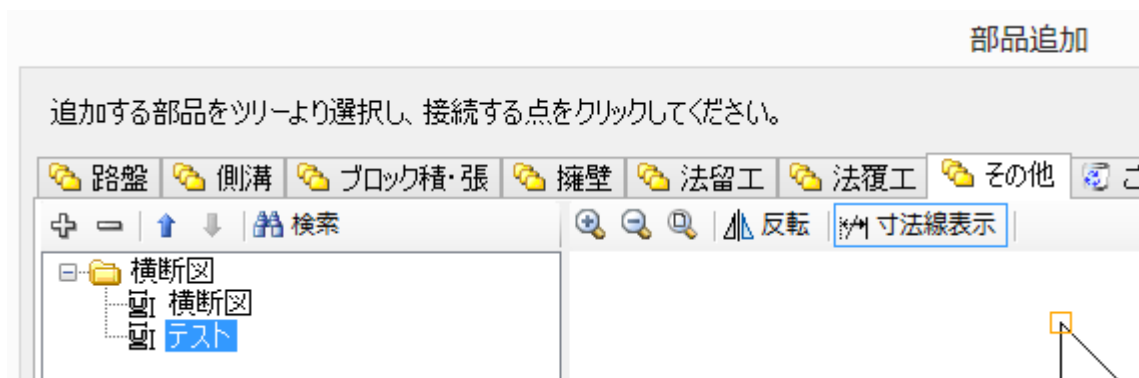
ツールバーの  ボタンで元に戻す、 ボタンでやり直すことができます。

部品として保存

- ① ツールバーの  ボタンをクリックすると[部品保存]ダイアログが表示されます。
- ② 部品名称をつけて[保存]ボタンをクリックします。




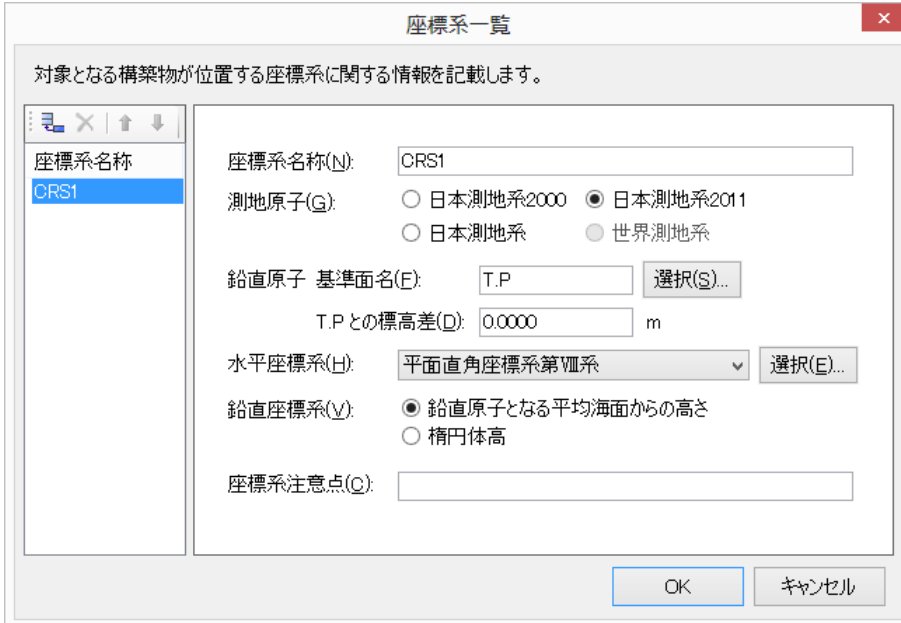
- ③ [部品追加]画面に追加されたら保存は終了です。



12. その他の機能

座標系一覧を編集する

メニューから「表示」-「座標系一覧」をクリックし、構造物の座標系の情報を編集します。 ボタンで座標系を追加します。



座標系一覧

対象となる構造物が位置する座標系に関する情報を記載します。

座標系名称(N): CRS1

測地原子(G): 日本測地系2000 日本測地系2011
 日本測地系 世界測地系

鉛直原子 基準面名(E): T.P.


T.Pとの標高差(D): 0.0000 m

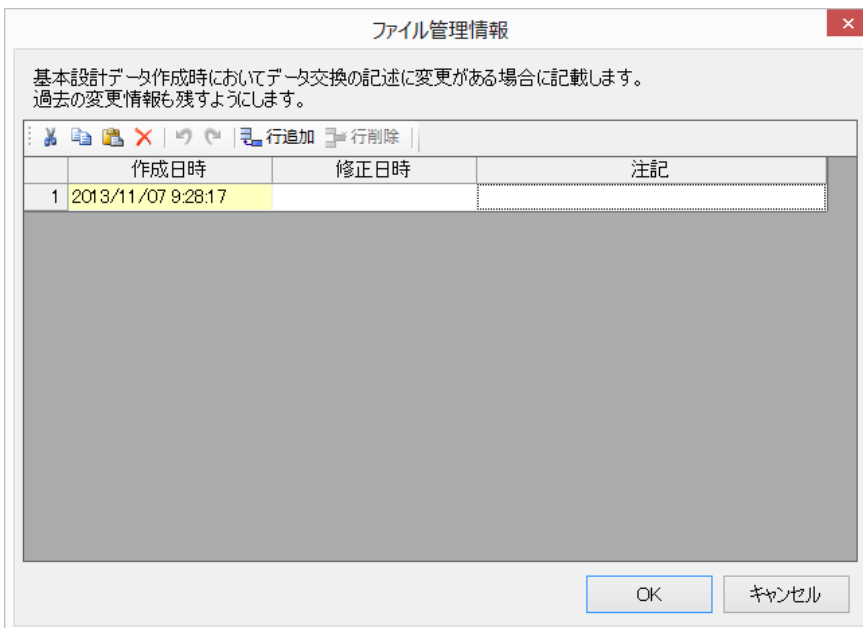
水平座標系(H): 平面直角座標系第Ⅷ系

鉛直座標系(V): 鉛直原子となる平均海面からの高さ
 楕円体高

座標系注意点(C):

ファイル管理情報を編集する

メニューから「表示」-「ファイル管理情報」基本設計データの修正日時を管理します。行を追加するときは  行追加 ボタンで追加します。




ファイル管理情報

基本設計データ作成時においてデータ交換の記述に変更がある場合に記載します。
過去の変更情報も残すようにします。

	作成日時	修正日時	注記
1	2013/11/07 9:28:17		

計測機器情報を確認する

メニューから[表示]－[計測機器情報]を選択していただき計測機器の情報を設定します。計測機器を追加するときは  追加 ボタンから追加します。



計測機器設置情報

出来形を計測した際の計測機器の設置状態に関する情報を記載します。

追加 × 削除

計測機器設置

機器設置識別名(N):

機器名称(E): 2級TS 3級TS RTK-GNSS

機器設置方法(S): 既知点設置 後方交会法
 ローカライゼーションあり ローカライゼーションなし

機器設置完了日時(T):

備考(D):

機器設置点

機器設置点名称(Q): ※後方交会法による場合は利用しない

機器設置高さ(H): m ※後方交会法による場合は利用しない

望遠鏡位置座標: m

Y座標: m

Z座標: m ※望遠鏡の高さ

機器設置参照点

参照点の方法	参照点名称	目標高さ

追加(A) 削除(L)

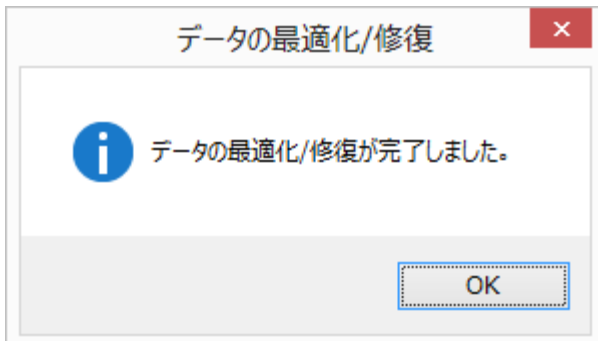
OK キャンセル

データの最適化/修復


情報化施工マネージャの工事データのメンテナンスをおこないます。

①メニューから「ツール」-「データの最適化/修復」をクリックします。

②最適化が完了したら  をクリックします。



データの最適化/修復

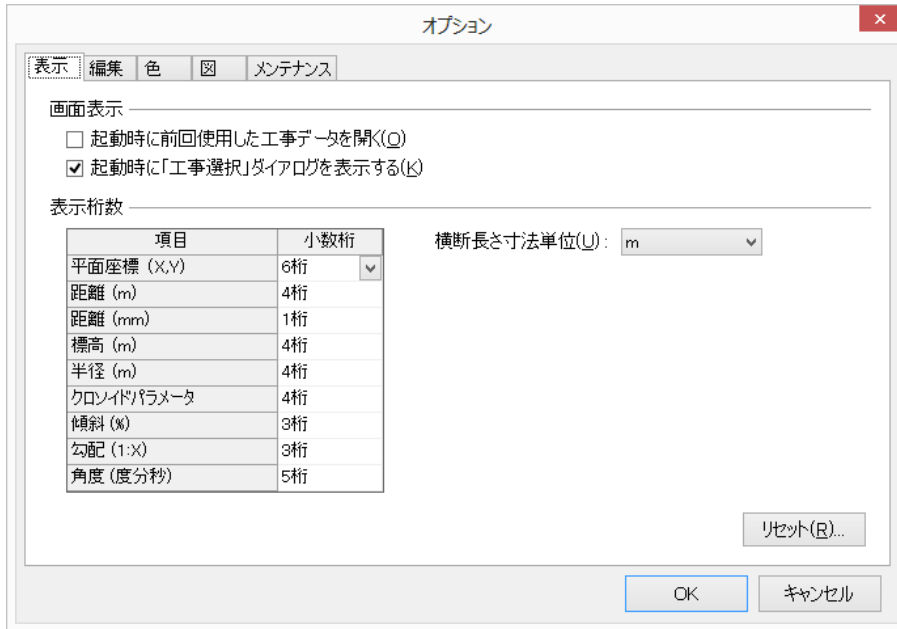
 データの最適化/修復が完了しました。

OK

オプションを編集する

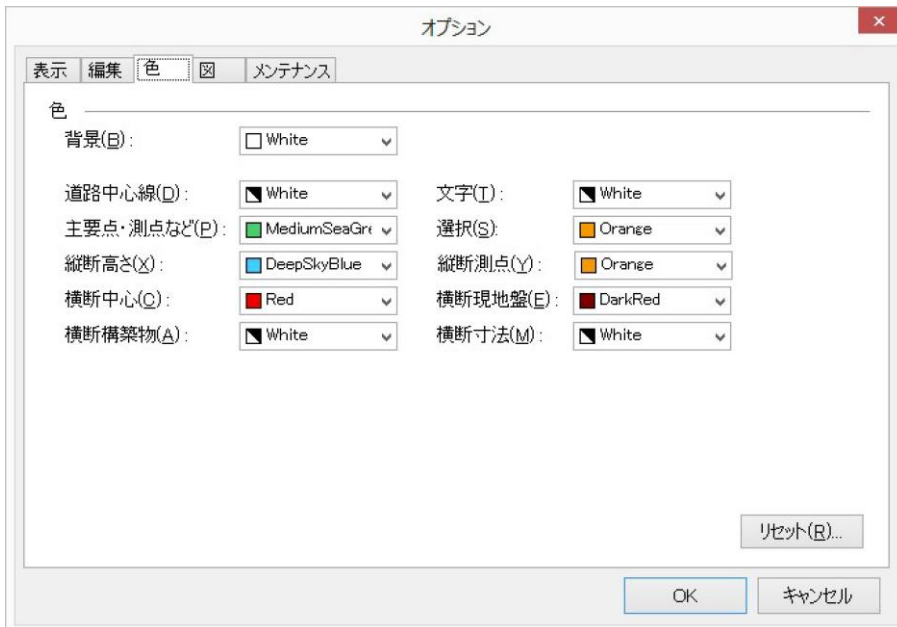
数値の小数点以下の表示桁数を設定する

メニューから[ツール]-[オプション]の表示タブを選択し、寸法線を作成時に小数点以下第何位まで表示するかを設定します。表示は0(整数)~8(小数点以下第8位)までの間で設定します。




図の表示色を設定する

メニューから[ツール]-[オプション]をクリックし、「色」タブから画面の表示色等の設定を行います。

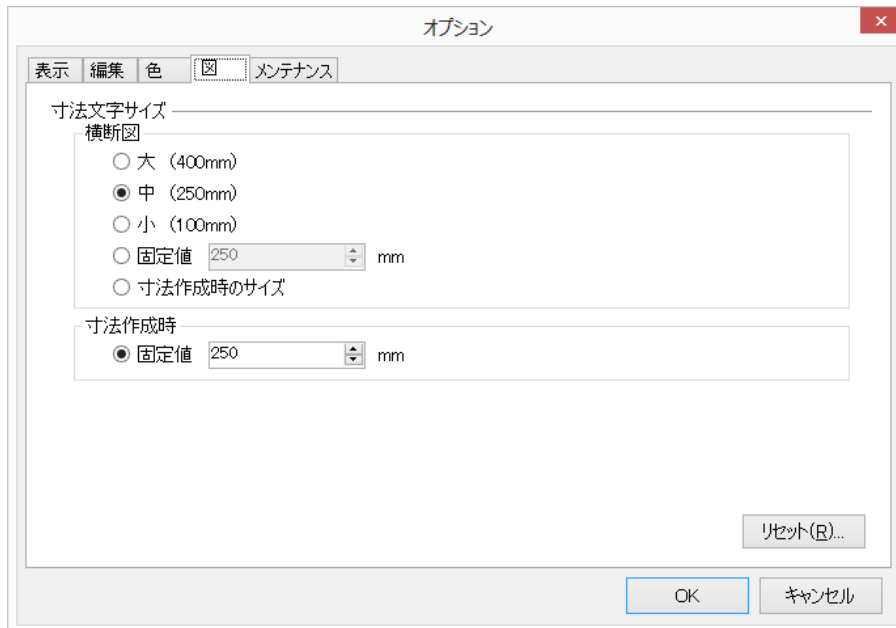


・背景画面の背景色を設定します。「White」か「Black」かを選択してください。

・背景色以外  こちらのボタンから選択し、色を選択してください。

横断図の寸法値の文字サイズを設定する

メニューから[ツール]－[オプション]の「図」タブから寸法の値を記入する際の文字のサイズを設定します。



ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、株式会社ワイズにあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
3. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
4. 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

システム購入後のトラブル、操作方法についてのお問い合わせは

サポートダイヤル：**050-5491-1112**までお願いします。

お急ぎでない場合は、FAX(026-266-0845)または e-mail(info@wise.co.jp)でも受け付けております。

またお問い合わせの際には、次のことをお知らせ下さい。

- ①ご利用商品
- ②貴社名
- ③ご担当者様名
- ④お電話番号
- ⑤パソコンのシステム構成(使用OS、パソコンのメーカー名、機種名、印刷の不具合の場合はプリンタのメーカー名、機種名等)
- ⑥お問い合わせ内容(操作の手順、表示メッセージなどの詳しい状況)

尚、新規ご購入、バージョンアップなどについてのお問い合わせは

電話:026-266-0710 までお願いします。

QuickProject 情報化施工マネージャ 操作マニュアル

平成 26 年 10 月 発行
株式会社ワイズ
〒380-0803
長野県長野市三輪 1 丁目 8 番 14 号
TEL. 026-266-0710(代)
FAX. 026-266-0845
e-mail: info@wise.co.jp
http://www.wise.co.jp/